京城日報

八日夕刊

○親日政策と外交總長

袁總統は目下の大勢上日支相互の理解を得ざれば不可なりとし曹汝霖氏を外交總長に任せしも曹氏は次長として働くを便宜とし固辭せるを以て親任待遇を與へたり又た周蜜氏は袁氏の旨を帶び親日の態度を以て誤解を解くに努むべしと（北京特電）

▲英國强制徴兵案通過

强制徴兵案は二百九十八票の大多數を以て採用されたり（倫敦電報）

▼勞働者反對

勞働者大會は强制徴兵に反對するに決せり（倫敦電報）

▼勞働黨辭職

敎務院總裁ヘンダーソン氏出納署長ロバーツ氏及び内務次官ブレース氏は辭職せり（倫敦電報）

▲强制徴兵案反對可決

勞働者大會の强制徴兵法案反對決議は七萬八千三百對百九十九萬八千の大多數を以て大會を通過せり（ヘンダーソン氏は同夜勞働黨委員會を召集せり消息通の豫想に據ればヘンダーソン氏は直ちに内閣を去らず先づ議員の職を辭し新たに補缺運動を試み以て輿論に訴ふべし（倫敦電報）

○東京天氣晴朗

連日天氣晴朗にして殊に八日の陸軍觀兵式は賑ひたり（東京電報）

○財部中將病氣

財部中將病氣の爲め八日嘉義丸にて大連より門司上陸福岡大學病院に入院の爲め通過したり（門司特電）

雜報

◎山東淄川炭坑

山東鐵道阪口鑛山課長は大連滯在中語つて曰く、淄川炭坑は既に坑内全部の大整理を完成し同坑よりの電報に依れば其一日出炭量は千五百餘噸乃至千六百餘噸なり此に據れば獨逸經營時代の最大出炭量に逐したるものにして

▲將來は平均

千五百噸を得べし此上の炭量を望まんには現在の設備を擴張するの外なし山鐵鑛山課にては來年度新事業とし前記淄川炭坑の擴張を計畫し獨逸時代の遺業たる同坑新竪坑の開鑿を計らんとし又金嶺鎭鐵鑛に對しては鑛石の繼内地に運搬するの計畫にて來年度に於て開鑛豫算を計上し其筋に提出中なり同地若くば靑島に製鐵所創設のことは當分見合せらるべし出炭量の減少と戰爭の影響に依り一時販路を狹められたる淄川炭は今日既に

▲戰前の狀態

に復し目下の需要期に際し益好況を呈し販賣人等に對し代金既納の引渡を終らざるもの三萬餘噸あり此等の出炭の増加と共に漸次交附され受渡遲延の不平も追々薄らぐべし而して近來の販路は濟南以西の山東省は勿論津浦線沿線地方北は滿洲より南は大安に達せ此等需用噸數は一箇年約百萬噸と見て可なるべし尚ほ撫順炭は目下の處靑島に販路を局限せるも滿鐵當事者に說き山東炭と混用輿地進入を始め居れり

▲淄川炭に對し

軍用は之を重視し過般靑島に於て水雷艇に試驗し豫想外の成績を得て目下は約五万噸を逆り重ねて佐世保に於て試驗しつゝあり果して軍艦用に適する結果を得れば我海軍の使用しつゝある英國炭目下の價格噸三十圓に比すれば其の價の廉なるのみならず兵器の獨立上慶すべきこととなり來年度に於ては山東鐵道は現狀維持の計畫にして新規事業なし唯だ獨逸より繼承したる山鐵既得の權利たる山西省方面に對する豫定線路の調査に著手せらるべきやに聞く（大連）

◎朝鮮生絲輸出

昨年八月より元の大成社を引受け京城恩賜授産場養蠶有望名を使用して機械製絲を開始したるに設備充分に整はざるにも拘らず々良好の成績を擧げ其製絲中の約五百斤（十七中）は當地三井物産支店の手を通じて橫濱市場に出し貿易品として試賣を行ひたるに意外にも好評を得貿易生絲中の標準とも云ふ可き信州産の上一番と同樣の取扱を受け百斤一千卅圓の賣値を以て取引さるに至りたり朝鮮産の生絲にして外國貿易品の取扱を受けたるは實に今回を以て嚆矢とし今後と雖も同製絲場の年産額約五千斤中の大部分を橫濱市場に出し外國貿易に充つる筈なるが如斯一度外國向の生絲としての信用を得し上は内容の設備漸次整頓すると共に益々殷賑を極むるに至るべしと

◎水道擴張中止

京城水道は人口増加に比例して每年夏季に於いて供給不足を告げ夜間給水の休止か又は晝夜と雖も或一定の時間或は一部の區間を制限して斷水を行ふ等應急の策を講じ辛うじて今日に至りたるが斯くては遂に一大不足を生ずる時に際會するのみならず京城府民の死命を制す可き重大問題なればとて當局者に於ても種々研究の上仁川水道の水量が多少餘力を有するを幸ひ同水道の水源地たる鷺梁津の水源池と京城水道の龍山支管とを漢江河底を通じて鐵管を連結し補給の送水を受くる計畫を立て既に昨年の豫算に其工費約十三萬圓を計上し工事に用する一部の材料さへも購入する所ありたる程なるが其後施工上の設計に付き種々研究の結果漢江の如き大河の河底を通じ多額の費用を投じて鐵管を埋設するが如きは頗る危險のことなれば何等か他の方法を案出して京城水道の水量増加を行ふより外に途なきことに一決したるを以て遂に該工事は本年は勿論大正五六年度に於ても行はざることになりたり若し果して然らんには年々需要者の増加する水道水のことなれば先づ此向ならば夏季の斷水を行ふか或は又巨費を投じて水道の大擴張を行ふかの他に方法なかるべしと

◎御眞影到達

新義州外二十二の小學校に御下賜相成りたる御眞影は遠藤秘書官捧持の下に八日午後九時南大門驛に到着、總督府よりは小松翰長、久芳人事課長、那山會計課長等同停車場に奉迎したり

◎太公釜山御著

グオルギー、ミハイロウキッチ太公殿下御一行は道中何の御恙なく八日午前九時四十五分釜山に著せられたり、御少憩後ランチにて御召艦鹿島に御搭乘、警備艦敦島を具し同港御解纜神戸に向はせられたり

◎露太公御乘艦

露國太公殿下御一行並に接伴委員寺内總督一行はランチに依り八日午前十一時御召艦に歸はせられたる旨其筋に通知ありたり

◎政務總監歸任

鄕里山口縣に歸省中なりし山縣政務總監は既記の如く遠藤秘書官を從へ八日午後九時南大門驛著汽車にて歸任す

◎觀兵式見合せ

朝鮮駐劄軍にては八日の陸軍始式日に龍山駐屯諸兵連合觀兵式を擧行する豫定なりしが練兵場の泥濘深き爲め見合することゝなりたり各軍衙、兵營全部休養下士兵卒には一般外出を許可したりと

◎赤愛社へ感狀

日本赤十字社、愛國婦人會兩朝鮮本部は昨年の始政五年記念朝鮮物産共進會に博愛館を設置出品せるに對し山縣事務總長より[illegible]感謝狀を交付されたり

◎愛婦會の決算

愛國婦人會朝鮮本部昨年度の成績を聞くに第三回總會及び各支部總會に際し内鮮人會員四千七十名（朝鮮人二千百八十八名）に達し年末の總會員數一萬四千百十三名（朝鮮人三千九百五十二名）に達せり、又昨年度の會計は收支差引三千八百六十五圓餘の剩餘金を見、總資金二萬一千百二十四圓餘を計上せりと

◎ハイド敎授入京

東京帝國大學經濟學敎授英國人ウキリアム、ハイド、プライス氏は冬期休暇を利用し夫人同伴上海、南京、北京、奉天及び京城地方視察の途次六日夜入京朝鮮ホテルに滯在せり氏は市内諸學校、博物館、商品陳列場及び水原模範場等を觀覽の上十日内地に向け出發の豫定なり

◎仁川の魚市場

仁川水産會社の二日初市の水揚高は六百六圓にして前年の初賣入百七十圓に比する時は二百六十餘圓の減少を示せるも前年の初賣品は大部釜山方面よりの委託品にして地魚は極めて僅少なりしが本年は委託品は四分一にも過ぎず大部地魚なりしを以て實際の成績は昨年に比し良好なりと云はざるべからず

◎大阪より

▲新年の海運界

新年の海運界は舊年に比して一層の活躍を見ん傾きあり即ち外國航路にありては八阪丸及び建國丸の地中海に於ける災厄に鑑み目下歐洲航路にある十一隻の郵船會社汽船は同海を目して危險區域となし各船とも擧て喜望峰の迂回航行に決し其他の同航路船も亦之に倣へるを以て比較的航行の時日延長の結果は自然船腹の缺乏を益々甚大ならしめ隨て傭船料並に保險料各昂騰せるに拘らず船腹需要の度を加ふるや論を俟たず又內國航路にありても其缺乏は外國航路と異ならざる外商船尼ケ崎汽船部の既記九州航路競爭は之が準備の熟成と共に愈々尼ケ崎は來る八日を期し豊讃航路に對して船賃の割引を開始すべく商船も又決して默過せざる模樣なれば中國航路に劣らざる大競爭の惹起を見るに至らん形勢にて孰れも船繰を整へ同航路船に充つる由去れば內海方面にも亦一層船腹の缺乏を訴ふの外なかるべし而かも時局の永續に伴ひ印度南洋方面に於ける內地製品の輸出は頗る增進しつゝあれば一般海運界の前途は年と共に新面目を開き稀有の活躍を見るに至らん

▲肥料値上問題

全國肥料聯合會は近日總會を開きて製品の値上協議をなすべく一面値上の主因としては大日本人造肥料の當地支店は既記單獨に二回の値上げを斷行し前後併せて協定料率より十錢の昂上を現出せしめし所由來斯界に於ける協定上の議論は常に喧しく弊は一部肥料が協定料率を無視し低價競爭をなすにあるも今回同支店の行動は全く無視に外ならざるも事値上に屬し各肥料とも希望せし事とて何等異議なきのみならず内地肥料の首位を占め其販賣者も亦他の肥料に比すれは非常の懸隔ありしを以て寧ろ之に倣ひ此の際幾多の値上をなすも販賣上更に支障なしとの見地に外ならざる由なれど玆に一難事と云ふべきは同支店が既往値上げの精神は碌酸其の他諸原料の昂騰に伴ふ自然の結果なりと發言するも內實殆んど無意味に増收を計るの値上げに過ぎざるを以て今後他の肥料の値上と共に同支店は又々第三回値上の實行を見んやも知れず斯くては他の肥料は重ねて之れに伴隨し價値上げをなし得べきや否やは最も考慮を要すべき問題にして之れが爲め協定率は全然破棄を餘儀なくせられ結果斯界をして低價競爭の舊態に復興せしむるや測り知る可からずとて今や當業有志は豫め値上利害を研究中なれば前記開會當日の主要問題たる値上は先づ異議なく通過せんも同時に協定料率の將來に言及し多少の議論あらんと觀測されつゝあり（大阪支局）

人事消息

▲館方多賀雄氏（太田第一聯隊長步兵大佐）六日午前高麗丸にて上陸北行
▲村井文七氏（步兵少佐）同上
▲高比吉氏（工學博士）同上
▲須賀川又五郎氏（第三十五聯隊大隊長）六日午後高麗丸にて內地へ
▲荻田悅造氏（總督府囑託）高麗より歸省中の同氏は十日歸任すべし

南言北語

英國の徴兵制は毎度内閣の大問題になつて居たが愈々實行するらしい▲處が其處が内閣では所謂徴兵制ではなく强制募集だと云つて居る處は英國式だ▲處が其の强制募集をせらるゝのは十八歳から四十一歳迄の未婚者と小供のない鰥夫だ相な▲朝鮮では斯う云ふ連中をチョンガと云つて餘り持てる方でない强制募集の時なぞは先づ眞つ先に狩り出されて人夫にでも使はるゝ位だ▲英國でもチョンガ連を强制募集するは面白いが朝鮮とは違つて女房を貰ふにも其程の金もかゝるまいから大急ぎで嫁を貰つたら何うなる丁度大戰爭で女も餘つて居るだらうから結婚も女の方から喜んで申込むのだらう左右すると既婚者は强制せずと云ふ仲間入りが出來る譯かナ▲イヤ此法令が出て結婚したものは矢張チョンガ扱ひぢやあ或る意味から早婚奬勵ともなる世の中は妙になるものぢや▲長男と次男の衝突で袁總統の家庭は不和になつた相な▲一體袁總統には長男の克定が三十七で生後三箇月になる男の子迄十六人ある▲此の外に女の子が十五人あるが之等は正妻一名と妾七人が產だ子だと云ふ▲雲南事件から長男の克定と次男の克文の曲み合ひ許りぢやない▲將來之等十六人の王子と十五人の王女が己がんゝで名々勝手にやり出した日には袁總統の天下も內から崩れはしまいか▲帝政問題よりは袁家に取つては此の方が大分危ないとは左も其うづ左もありなむ

大正五年 國民年鑑

定價五十錢　郵稅十二錢

千人の智も此の一卷に及ばず

一度び手を觸るれば、御大禮記を始め政治、經濟、財政、金融、軍事、外交、敎育、宗敎、文藝、美術、運動、遊藝、演劇、相撲、圍碁、將棋、都市、植民地の現狀は勿論歐米、支那、其他現代人物、銀行會社等社會萬般の事象一として漏す所なし。

發賣所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

萬人向の月刊雜誌 世の中

此の雜誌を讀まねば人間界の眞相は分らぬ

新年號　定價廿五錢　郵稅二錢半

各宮樣の御生活の御模樣（三十頁）……堺利彥
◎日本の家庭の不經濟は何か……諸名家
▲大正の簡單藝術……三宅博士
◎講談士俵の仇討……早川貞水
◎面白い世の中會議……武田豐四郎
▲七福神の大研究
◎裁判は果して水ものか……横山辯護士
▲大隈總理大臣の解剖（大隈伯爵の家庭と財產と生活その他一切の事）
◎東京力士の生活その他
▲世の中の本家は誰か……野依社長
◎政友會財產の內幕しらべ
◎神經衰弱のなほる法
▲活地獄活極樂の淺草
◎泥棒の新年宴會　◎臨の正月
大正五年の豫想（大正五年の世の中に起る一切の判斷必ず讀め）大附錄　諸大家

東京市日比谷　實業之世界社　振替東京三三四三三

懷中要藥

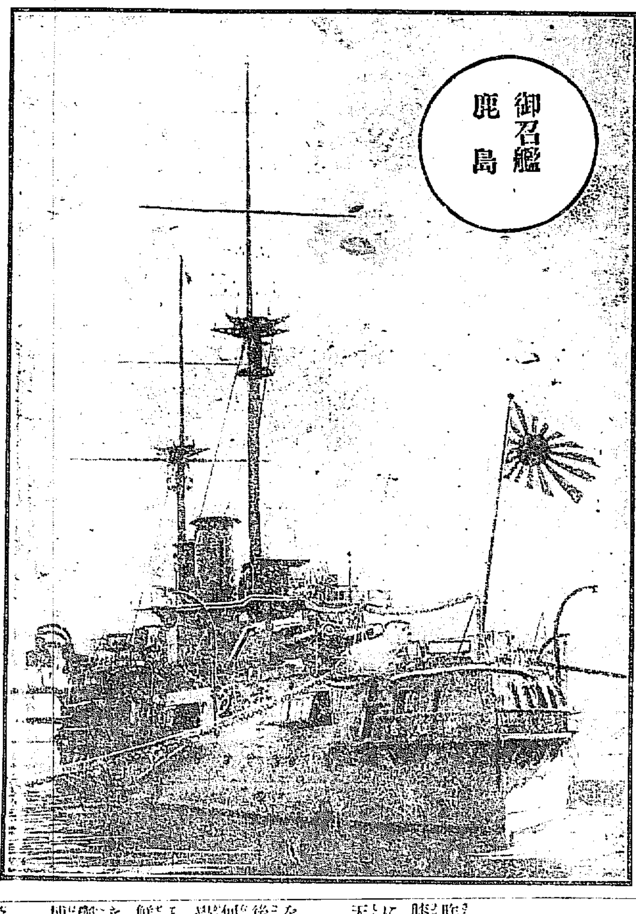
清心丹は旅行携帶藥として缺ぐ可からざる良藥にして汽車汽船の悪ひを快よくすること妙
清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特效有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑也
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹痛には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛碎用て大に豫防す
清心丹は入魚の商標高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求を乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（錻入）廿錢十錢五錢（紙包）の七種あり
清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大阪町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

波路安けく
太公殿下釜山御解纜
雨に霞む港頭の壯觀

今日しも釜山港より御乘艦東上あらせらるべき露國皇帝陛下御名代ジョウルジ、ミハイロウヰッチ太公殿下御一行を迎へまつる釜山港内は前夜來の雨今朝に至りて尚歇ず蕭々として降りそゝぎたれども、氣温かにして風なく海上平穩にして龍頭の峰巒の山翠縷滿たらんばかりに類ひなき佳賓を送迎するの歡びに輝くにも似たり、太公殿下御搭乘あそばされたる列車は豫定の如く午前九時四十五分微雨を衝いて釜山驛構内第二プラットフォームに安著せり此時港内に碇泊せる帝國

軍艦敷島の發する皇禮砲は殷々として海上に轟き渡れり、殿下の御一行は波道まで御出迎へ申し上たる佐々木慶尚南道長官前田同警務部長の御案内にて折しも八日の聯絡船にて著釜せる山縣政務總監釜山駐在露國領事ワシリエーフ氏駐日露國大使館附海軍武官ボスクロスキー氏等の御出迎へ申し上げたるに對し御挨拶を賜はりたるが、それより寺内總督、安達公使、白井、森兩武官、井口軍司令官、立花警務總長、大屋鐵道局長官、三本、和田兩參事、堀井釜山驛長等御先導申上げプラットフォームに下車あそばされ、若松釜山府尹が奉迎の諸員の名刺を取纏めて捧呈せるを御受あり、それより釜山守備隊儀仗兵、在郷軍人會員の堵列せる前に立せ給ひて御會釋あり、此の時立花警務總長は恭々しく殿下の御前に進み出で

在郷軍人會の性質組織等に就き詳細御說明申上しに至極御滿足の御模樣にて御聽取ありたるのちプラットフォームに整列せる官公吏並に市中の重立ちたる人々に對し擧手の禮を賜はり更に中學校、商業學校、女學校その他日鮮各小學校生徒に對しても一々御會釋あらせられつゝ鐵道棧橋に至れば軍艦敷島乘組員を以て組織せる海軍儀仗兵二箇大隊堵列せるありこれより御召艦鹿島より特派せる御召艇は船首に露國々旗を船尾に日本國國旗を掲げ數隻の艦載汽艇と共に殿下の御乘船を待ち奉るが如し、此の日港内に碇泊せる大小の船舶は何れも滿船飾を施し奉迎の意を表しつゝあり、斯くて殿下は隨員並びに接伴員を隨へ奉送迎の諸員に御會釋を賜はりつゝ御召艇に御搭乘汽艇の御先導にて稅關棧橋を御解纜相成るや御召艦鹿島は皇禮砲を發しその砲聲殷々と轟き渡る硝煙朦々として海上に漂ひ壯觀極まりなし、軈がて汽艇の御召艦鹿島に近づくや艦長以下全員登舷禮を行ないつゝ奉迎せる間に御乘艦御機嫌いと麗はしく奉送迎の諸員に御挨拶あり午後一時供奉艦敷島を隨へて御出港あそばされたり(午後三時釜山支局發電)


御召艦鹿島

朝鮮の風光を賞で給ふ
南行列車中の露國太公殿下

露國太公殿下は八日午前九時四十五分釜山御著官民の奉迎送を受けられつゝ午後一時御召艦鹿島に御乘艦御東上あらせられたるが

▲南大門より釜山御著までの太公殿下の汽車中の模樣を承はるに御召列車の水原驛附近に到れる頃までは御機嫌いとも麗はしく隨員接伴員と共に盃を擧げて御談笑あり十二時を過ぎて夜の漸く更け來るに及び御寢室に入られたるが八日午前八時頃三浪津附近にて御目覺あり御氣色麗はしく窓外の模樣など絶ず御覽あり風趣に富める

▲南朝鮮の山河にいたく御興を催させ給へるが如く淸道まで御出迎へ申し上げたる佐々木慶南道長官を召し種々の御下問ありたる上、南鮮地方は氣候温和にして風景又美なるを見たり、沿道の模樣人民の生活などより察するに農業に適するなるべし斯る地方に善政を布きて植民するに於てはその効果大なるものあるべし』などの御諚ありたりといふ

機會は來れり!!
日露同盟を呼ばふ露人の聲

京城露國領事館副領事ヘフトレル氏は記者の手を握りつゝ語りて曰く

今回貴國に渡らせられたる露國皇帝陛下の御名代ミハエロウヰッチ太公殿下は皇帝陛下の伯父君に當らせられ多數の皇族中最上位に在らせられ御信用最も厚き御方なり太公の妃殿下は希臘王の御令妹にして太公との御仲に王子御三方あり太公は本年五十四歲と記憶し居れり太公は至つて平民主義の御方にて本國に於ては大抵の場合謁見を願出でたる者に對しては御許しあり且又努めて談話を御好になるを以て上下を通じて御人望殊の外高し

▽殿下の使命　今回貴國に皇帝陛下の御名代として御差遣の御使命は昨冬御擧行に成りたる御即位式奉祝の爲にして殿下御來朝の時期が御大典より餘りに遲延してのことなるため或はそれ以外に特殊の國際的大使命を帶び給へるが如く取沙汰する者あれども多分其樣のこと無かる可し若し假りにありとするも發言する自由を有せざるは甚だ遺憾とする所なり殿下の御來朝に就ては夙に報ぜられ周知し居たれども御出迎は申上げず余は南大門驛にて拜謁し釜山よりは同地駐在の當館領事内地へ御同行申上ぐる筈なり

▽衷心より感謝　殿下の御來朝に際して貴國の與へられたる歡迎の誠意に對しては衷心より謝意を表する次第なり今次の大戰亂に就て貴國より軍需品の供給又は其他各種の便宜を與へられたるのみか今後益々日を逐て日露の親善は加はらんとしつゝあり今や露本國々民一齊に日露親善の急務を叫び日露同盟は世界の平和を維持す可き最有力なる鍵なりと沸騰し新聞に雜誌に盛に輿論を喚起し居れり氣運は作られたり唯成るを待つのみ云々

ニコ〱のス博士
熱心な研究の手を朝鮮へ

△評判の七子の黑紋付と仙臺平の袴は床の間に
△我輩は百餘の異人種を見三十餘國を訪うた

朝鮮名所を彌次喜太行脚

昨年十一月の頃、東海道五十三次の膝栗毛を試み、天晴れ黑の三つ紋付に仙臺平の彌次郎兵衛と化け濟して天下に

□お札博士の盛名□を恣にしたスタール博士は七日午後九時釜山から南大門驛に著いた、何分にも米國は市俄古大學教授人類學博士フレデリック、スタール氏のことであれば驛からは早速自働車で朝鮮ホテルへお泊りかと思ひの外年若き通譯の喜多八前橋君を伴うたまゝ飄然山本旅館に投じたのも面白い、博士は旅館の三階なる

□純日本式客間に□陣取つて床間の前の机に胡座で對ひながら頻りに黃色の原稿紙に萬年筆を走らせてゐたが服裝は珍らしくも粗末な黑色の脊廣に黑色の襟飾、横濱上陸以來二箇月間も著通したと云ふ評判の紋付と仙臺平とは床間の上に疊まれて上には

□茶色獻上博多の□帶が置かれてある『自分は洋服よりも日本服が似合ふのだがたう〱關釜連絡船から洋服に著換へた』と博士はまん圓く肥つた元氣よき赭顏をニコ〱させる、而して眞面目の裡にも何か面白いおどけを言ひ和な面色で鼻眼鏡の下からは常に

□柔和な眼が笑て□ゐる『私はこれまで前後二回も朝鮮に來たから這回で三度目の旅行である、旅行の目的は都合二つ、其の一つは人類學の上から古い朝鮮を視たい爲めと今一つは朝鮮に於ける日本の統治振りを視たい爲めである其れでお天氣さへ好ければ五週間許り滯在して

□親しく朝鮮各地□を視たいと思つて居る、私は以前から朝鮮に關する古い書物を澤山讀むで居た爲め朝鮮語の地名ならよく解るが日本語の呼び方はむづかしくて困る、……其れに這回の旅行は隨分忙がしい旅行なので私も困るが其れよりも第一通譯の前橋半兵衞君が忙がしい……』とハーンベイに力を入れて笑ふ『私が

□初めて朝鮮に來□た時、それは去る一千九百十一年であつたが、私は新羅の舊都慶州に遊んで彼處の佛像を總て寫眞に撮つたことがある、恐らく彼處の石佛を一般に撮影したのは私であらう、又先きに此の前朝鮮人の上半身を澤山寫眞にとつて米國の博物館六箇所に贈つたことがあるが是は從來人の

□試みたとの無い□珍らしいものであつたから非常な評判であつた、私は又曾て[illegible]人の寫眞を蒐めたものを聖路易の博覽會に出品して名譽金牌を受け又印度人の寫眞に對しても金牌以上のグランドプレーを貰つたから今度右の

□朝鮮人のものを□何處かの博覽會に出品したならば屹度金牌を受くるに決まつてゐる、何、私は元來世界に於いての人種の風習に就いての私の意見か……大凡百種に亘る相異つた人種を見た、而して相異つた國に旅行したとは三十餘箇國以上に上るであらう、併し何處の國でも皆

□其住民が生活に□就て研究して居るのを見ると共に皆それが生活に適合であることを認める、第一朝鮮にも温突がある、これは疊よりも暖かいでは無いか』と笑ふ、博士は又美濃の赤阪町で求めた温故燒の面を珠數のやうにして持つた居たが聞はるゝまゝに

□新聞包の裡から□夥多の温故燒能面を取出して並べて見せた、而して『私の東海道旅行記は餘り友人がすゝめるので和澤して近々出版する』と云つて笑つた

スタール博士　八日午前八時山本旅館樓上にて

演藝

▲壽座　九日より節松山一座 大序より白洲まで切狂言は松前屋五郎兵衞功艶尼ヶ崎重なる役割左の如し
一心太助、十次郎、(鯛三郎)五郎兵衞女房、操(梅若)笹山郷右衞門(菊太郎)阿部豐後守、さつき(梅蔵)五郎兵衞、川井丹波守(光十郎)佐五平、久吉(錦太郎)彥左衞門、光秀(長太郎)

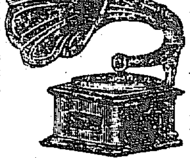
▲御成座　大五倶樂部九日の替り狂言は相馬事件にて主なる役割左の如し
夫人爵子(石黒)、番町久七(立花)相馬須次郎(常盤)相馬淺次…(白川)錦織剛正(静岡)

■八日より新寫眞■
■新派悲劇 花あやめ■
■泰西奇談 氷山の家■
■名畫 吃又平 仇討■
本町一丁目 有樂館

大好評 連夜滿員
新派悲劇 狂美人
劇中の劇 サロメ
麻布怪談 旗本屋敷
大正館

爆藥を水に溶かし……月十二日も家庭に一悶著を起したる……分の一を飲ましめたるもの原因とな……結果同夜十二時頃方文賛は是れ不和……りて同月十六日午前十時頃途に死亡……する所となりて方文贊は收入罪とし……て引致されたり

祝新年景品附 大聲蓄音器大割引販賣
本機は機臺の直徑一尺五分高さ五寸五分喇叭口徑一尺四寸、七枚掛ニッケル構造キング式原動機にて音律正確發聲頗る大なり新年御祝儀として左記大景品進呈す御望の方はハガキにて申込次第荷造責任を以て無料引換品交換又は返金
壹臺 金八圓五拾錢(運賃及荷造料代共金一圓五十錢)
景品 純新音譜即ちレコード拾枚……
御大典記念新音譜の十二種
大阪蓄音器商會



新小說

新年號
本號に限り 金三十八錢
歐洲大亂と我言論界……社說
裁判と社界……社說
保險官營を論ず……粟津博士
近世殖民政策と我國の立場……堀切教授
現代閨閥誌……鶯城崎
▽日本開發と外人……新渡戸博士
▽藝術上の南洋文明……朝倉文夫
▽袁世凱一代の秘史……青柳
▽新思想家の地方分布……社同人
▽社會評論……社說
▽男女關係の進化……大杉榮
文藝家の嚴肅なる態度とは何ぞや……生田長江
進步とは何ぞや……相馬御風
獨逸軍事探偵制度
□姉の夢……正宗白鳥
□薄雲太夫……長田幹彥
□春過てより……有島生馬
□白金の繪圖……泉鏡花
□孕み女……上司小劍
□寒山拾得……森鷗外
○資料三錢(振替壹六壹七)
現代の統一原理……紀平教授
日本圖南論……竹越三叉
最近列強外交……五來素川
電車賃値上問題……社說
維新歷史の背後の女……山路愛山
江戸前……笹川臨風
旅役者の手記……坪内士行
場所入氣力士……三木愛花
東京日本橋區 春陽堂 振替一六七一

會員募集
一月十日より每週月火木金每夜外人教師出席教授す
京城旭町二丁目名古屋城内(電話二五六五番)
實用英語夜學會

優等淸酒
福岡縣三井郡山川村
釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店
電話一〇三九番 振替口座四三九番

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

平北雲山郡委延面……は豫て妾として金氏と同棲中金氏の進子彌(九)なるがあり妾を本妻と……は常に犬猿の仲なるに加へて昨年九……用のダイナマイト一本を約三十倍の水に溶解しサバリ一杯に入れ藥なりと嫁がる同人に强制的に俯めて飲ま……し爲め辛くも難を免がれたり然るに右の事件は其後巧みに隱蔽しゐたり最近に至り所轄警察署員の探知し……するに至らず永樂町一丁目居住御手洗たね(四)は猩紅熱患者の附添看護人として順化院にて附添中感染し十……診したるが昨今……至れるが惡性の氣味あるを以て……するものは何れも一般大に……

◉奉天情信

曹次長榮進か＝英と川藏鐵道＝段祺瑞氏行踪＝段氏討伐電請

▲曹次長榮進か 外交次長曹汝霖氏は今春二日の策令を以て特任(簡任官)待遇を與へられたるが元來各部次長は皆簡任(勅任)なるに曹氏獨り此待遇を受くるは袁總統の知遇厚きの然らしむる處にて或は同氏は遠からず外交總長に昇任し次長は近く歸國の筈なる駐日公使陸宗輿氏なるべしとの報あり

▲落合公使航路 落合謙太郎氏は舊年十一月二十三日鹿取丸にて出京渡際の途に就きたるが同船航路は喜望峯廻りなりとの說あるも多分は然らずして蘇士航路に依りたるなる可くしたすれば昨今既に地中海を通過したる頃なるが八阪丸に次ぎて建國丸と頻々遭難するの際なれば窃に同公使の爲めに其安否を氣遣ひ一路平安を祈る者多し

▲英と川藏鐵道 昨年來英國は西藏四川の聯絡鐵道を敷設するの意ありて印度總督は多數の技師に護衛兵を附して線路を測量せしめ居れるが其豫定線は(一)薩査鐵道の起點なる西藏の東南地境を經て四川省の巴塘に直達する者(二)伊拉瓦締河の上流地より英支爭奪の懸案地點なる片馬を横斷して瀾滄江の溪谷に至りて四川の本線に歸達する者の二線にて其樣式は輕便鐵道なるが如し之れに關し西藏駐紮陸長官より其詳細を北京政府に報告し同政府は頗る懼惧せる者の如し

▲段氏討伐電請 段上將軍は雲南事變勃發して帝政實行の行惱みたるに忽激し七百四十餘字の長電を北京政府に發し自ら雲南討伐に向はんことを請へり其大意を擧ぐれば先づ民國開設以來共和政事の國情に協はずして四年間動亂の斷えざるより國內人心期せずして帝制を望み遂に天人の一致を以て國體の變更を確定したるは全く大局上の計畫にして絕えて私意あるに非らず然かも我皇上猶謙抑して再三辭避の後始めて群議に從ふことを明令し上下歡喜し其帝政實施の一日も速からんことを望むの情を陳べて後唐繼堯、任可澄及蔡鍔が各省に對して發したる帝制取消の要求は是れ天人の與に惡む所也とて憤慨し其より蔡鍔が從前帝制を極力贊成しながら今に反んで頗る異志を生ずるの不都合を詰責し現在國體已に定る一二叛徒の能く動かし得る處に非ず按ずるに雲南は貧瘠の一省にて固より全國討逆の師に當るに足らず昔し吳三桂は二十年間密謀せしも猶其野志を遂ぐること能はず況んや蔡唐輩の二三乳臭兒が事を擧ぐるも何事をか爲し得んや之貴不敏なりと雖も部下の將士を率ゐて雲南に馳往し此の兇頑を鏖し民を水火より救はん伏して朝命を待つ迅速啓行するを得ば感激の至りに堪へずと云々

▲段祺瑞氏行踪 五日の本通信に段祺瑞氏は帝政派の迫害を畏れ營口を通過して某地に逃れたる旨を報じたるが更に聞く所に據れば同氏は段奉天將軍と特別の關係ありて生命に危險なきを以て奉天を經由して大連に赴き同地より天津を經て目下青島に避難せるこそ事實なるが如し

▲革命黨員就縛 革命黨數名が四年街より東蒙古に入りたる旨は去月十九日の本通信に報じたるが右の內一名は二三日前東蒙古の某地に於て捕縛せられたりとの確報到れり

◉暖氣と麥作

此儘に經過せば大豐作 平安南道に於ける麥作は近年著しき發達をなし大正四年の收穫は大麥小麥裸麥を合して二十萬石以上に達し大正五年は四年に比し平年作にして一割以上の增收ある可き見込なりとの事なるが昨年末より稀有の暖氣の爲め發育佳良に過ぐるの觀無きにしもあらず今後急激に寒氣襲らば凍傷は免れざる可きかと一般に憂慮されつゝあるも元來麥は內地に於ては寒氣強く降雨滋きを以て豐作の徵と稱すれ共朝鮮の如き寒氣激しき土地に在つては寧ろ之れと反對に氣候溫暖なるを可とする由なれば冬期中此のまゝに經過せば本年の麥作は大豐作なる可く觀測されつゝあり

◉鯉養殖好成績

平安南道にては龍岡郡鳳山面蓮池に鯉を養殖しつゝ有るが其の發育狀況を聞くに該事業は大正三年より實施し最初先づ千尾を試みに放ちたるに發育狀態極て良好にて一昨年末には既に五寸餘に達したるが鯉は元來雨を好みて燕下せんとする習癖あるを以て結氷期中降雨ある每に水底より躍り出で水面に頭部を露はさんとする爲め其の都度氷に衝れ斃死する者多く一時は鯉養殖不可能なる可しとさへ悲觀さるゝに至りしが其の後の調査に依れば甚しき被害も無き模樣にて昨今は最早八寸餘に及び潑剌として浮遊しつゝ有りと然して本年は近年に無き暖氣にて結氷せざる爲め發育至極良好なりと因に本年春季は更に千尾を放つ可しと

◉商議認可申請

平壤商業會議所新定款は已に凡ての準備を終へたるを以て設立理由書及び十二月二十八日現在の會員數賦課徵收の豫定法定の同意者ありたるを證する書面豫算書等一件書類と共に十日頃府廳を經て總督府に認可申請の手續をなすべしと

◉平元國道修理

昨夏の霖雨により受けし平元國道破損箇所江東郡麥田より江東邑內に至る間の修理工事は古邑面に於ける水昌橋の架橋及び其他四箇所の架橋を主なるものとし土工數箇所なりしが鎭南浦淸水組請負の下に工事を進め寒氣緩かりしため豫定より早く客月竣工せりと

◉東萊支廳設置

東萊は同地を中心として民刑事務の增加す可き傾向あれば釜山地方法院にては同方面の公衆に利便を與ふ可く同地に支廳又は出張所を設け少くとも民事事務丈にても取扱ふ可き計畫ありて既に其實狀調査を開始せりと

◉大橋中佐出發期 新任金澤憲兵隊長大橋又三氏は十二日午後一時赴任すべし

◉學校職員昇給 平安南道小學校及び普通學校々長以下訓導は十二月末日を以て昇給辭令ありたるが小學校側としては平壤尋常高等小學校長辻右作氏(三級)以下十五名普通學校側にては平壤第一普通學校長宮本作之亟氏(四級)以下內地人訓導十名鮮人訓導三十三名なりしと

◉鐵原雜報

鐵原消防組は例年の通り四日午前九時より鐵原敷田初式を擧行したり▲官民合同新年宴會は五日午後五時由良之助樓に於て開催せり▲鐵原學校組合は會議員二名の補缺選擧を來る八日同事務所に於て執行の豫定なり▲當地在住猟師の一團は芝浦附近にて約十日間に渉り猛獸狩を試むべく八日早朝より目的地に向つて出動の筈猶鐵原分隊よりも應援の爲數名の憲兵一團に加はるべしと▲鐵原農業傳習所は邑驛中間に廳舍新築中の處既に齊臟之が竣工を告げ本月より新廳舍に移轉せり

お正月には何より第一に寫眞をおとりなさい
京城寫眞館
電話一〇〇番、一三四九番

◉元山より

○二日に於ける元山の初市況は近年に無い活況を呈した、市中の各商店は何れも相應の出荷を見たが取別けて盛況を極めたのは貿易商で初市御祝儀として格安なる爲め支那商人は店頭に山を築いた、又た明太魚はいよ〳〵盛漁期に入つたので元山驛に於ける輸送高は日每に增加を示して舊臘中は干明太魚の輸送が盛んであつたが新年以來生明太魚が多く京城方面に仕向けらるゝやうになつた、一體この冬は近年に珍らしい暖氣で正月の三日迄は雪らしい雪を見なかつたが四日から降雪があると共に大分寒氣が加はつた、是れから生明太の輸送は益々盛況を呈するであらう、年末から作業休止中であつた元山の築港工事は去る四日から始まり種物揚場の埋立を海陸兩方面から開始した

○最近咸南の奧地を視察し來れる人の談に依れば此兩三年來咸南各地の產業は著しく發達し之れを數年前に較ぶれば眞に隔世の感あり、產業の發達に伴うて生活程度も著しく向上し奢侈品を購入すること多きを加へ之れが爲市場は常に賑ひつゝあり

○產業の發達と共に生活程度の向上は免れ難きも朝鮮人は積年の弊政により一般に貯蓄心を減し、入るに任せて消費するの弊風あり、之以來勤儉貯蓄の獎勵に依り其弊習を自覺し來りたるも咽喉元過ぎて暑さを忘るゝ諺の如く、少しく其生活に餘裕生じたり、舊時の苦痛を忘れて心驕るに於ては善政に浴するも効空しく、市場の殷賑は喜ぶべきも奢侈品の購入は憂ふべき現象とす

○余は舊臘初めて咸興地方を視察したり、咸興に至りて一驚を喫したるは市街が秩序宜く整頓せる事なり、由來朝鮮に在住する內地人は何れも新同胞の模範となるべき覺悟を以て進まざるへからざる事勿論なるも鮮人の雜居するものは其市街の經營に於ても其の社會の組織に於ても不整頓は免れ難し、然るに咸興の市街經營及び社會組織に於て能く整備せるは咸南の首府として昔より發達の速かなりしに因る事勿論なるも一面に於ては移住せる先覺の內地人が新同胞を指導誘掖して好き模範を示したるにあり殊に平坦にして潤き地積は將來大市街を形成するに足るが故に將來交通機關の完成するに於ては咸興は咸南第一の物資集散地たるを得べし(鬼砲)

入院隨意
胃腸病院
(京城南大門通三丁目 [illegible])
電話一六五九番
院主 佐々木杢造

◉連絡船上陸客

六日午前釜山入港高麗丸二三等客(二等六名)萬方多賀雄、內田龜太郎、高比喜英人二名、米人一名(三等三十名)松井七夫、平岡千四郎、[illegible]、同朝彥人、松本豐三、[illegible]、松浦彥三、[illegible]、須田武雄、[illegible]、西池民林、[illegible]、[illegible](三等百五十四名)
六日午後入港對馬丸二三等客(二等一名)英人一名(二等十一名)小林平作、同つる江、[illegible]、[illegible](三等五十名)

商況

◉債券現物特電 (前日との比較)

◉公債直取引 [illegible]

◉深川在米特電

◉東京期米特電

◉大阪株式特電

◉大阪三品特電

◉大阪期米特電

◉下關期米特電

◉朝鮮物產特電

雜報

◉綿糸氣配呆け 本日に於ける綿糸市況は前日の形勢……

◉株高と銀塊高 [illegible]

一圓內外を飛上

一時は反動

◉機會 [illegible]

◉京城日本基督敎會 [illegible]

入氣稍蹉跌

◉今村覺次郎 仁川米豆取引所仲買人 電話長三三七・三六八 (イヌイマ)

燐寸原料奔騰

圓方騰貴し五圓乃至十

生產不引合

鉛價の暴騰

暮進を招き一氣に五磅

續き不可能 輸入約定は引

◉鳥山正米市況

一二三十錢安

漸次不引合

京城望み來模樣

手持品は籾摺業者

安値を期待し眼先尚一押

◉小樽の北海產物

顧客本位正確神速
仁川米豆取引所仲買人
ヒサン 仲買店
電話 [illegible]

◉生果類鈍し

自然安模樣

下關期米

各地商況

◉木浦(六日の穀物)

京城正米

田中 [illegible]
電話長一六二八番 一五二番

南大門の廻米

當然一下

大張引續き持合

仁川現物市場

高を唱へ荷主は田舍

安人氣

仁川期米

▲八日前場

三錢安の入電

五錢六節十錢と安

移りに大阪四節十

場は再び四十五錢

市場零聞

▲前場の商戰

▲前場瓦落す

買方の投招致

投げ退き多く

期近及先限

先限は多少買越

▲人氣反動安

十五圓七十一錢

高値を演出

十八錢と瓦落

大阪の暴騰に七十

一錢と返り

十錢と押し過ぎ

倚大阪の暴落に比

强硬の成行を示す

▲鞘益縮少す

大下鞘を附し

三圓

六十錢內外と縮少

約百丁

鞘寄

仁川米豆取引所

八日の三月限

演藝案內

本町 壽座 電話五七八
大歌舞伎一月九日より第五回替り狂言及び役割左の如し
前狂言 ……
切狂言 ……

壽町 壽館 電話一〇五
娘義太夫 竹本 關昇 大一座

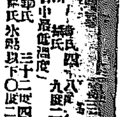
明治町 浪花館 電話二六〇番
東京落語三遊派幹部一行

御成座 電話二九一番

大正館 電話八七三番

黃金館 電話二六三七

本町一丁目 有樂館 電話二六六

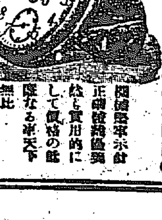


期米
大阪堂島取引所仲買人
入江商店
電話東長一二九五 ……

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
京城日報社 寫眞製版部

太田胃散
胃病良藥
◎飲過ぎ食過ぎに妙なり
△全國到る處の藥店に取扱す
本舖 東京兩國 太田信義商店



◉新荷着アンクル式片側側中時計
正確堅牢精確巧緻にして價格の低廉なる事天下無比
本店 京城本町二丁目 電話九七二番
イングレッシー商會
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、洋雜貨直輸入商

越後大評定

第九十四席　早川貞水口演

白雲閣の夜嵐

此とき關根彌二郎、四邊を見廻して『汝惡人小栗美作何れへ參りしか』と、息を吐いて居る、所へ後からソッと來て『エイッ』と斬込んだのは岩瀬平馬、パッと體を交はす、空を切つて泳ぐと、前へ流れ出るやつを『エイッ』、スーッと身體の伸びた所を胴切りにされましたから眞二つとなつてズドウーン、岩瀬は倒れる、彌二郎莞爾と笑ひ『今この所で切腹いたし、相果てるは豫ての覺悟なれども、此處で死んでは犬死なり、せめて惡人の張本たる小栗美作を斬つて立退きたいものだ』そこで其處へ倒れて居る、小栗の家來片岡彌太夫を見て『ア汝は忠義な奴だ、大切なる主命を捨て、主人美作を遁れさせしか、ム、同じ忠を盡すなら、善人の味方をなして忠を盡したら如何だ、併し乍ら主從となれば惡とは知りながらも、主人の生命を助けんと、我手に掛つて相果てしか、ア、憫然な奴だ、彌太夫、汝の片袖を申受けるぞ』ビリ／＼ッと裂き取り、其片袖に血潮を含ませ、傍への白壁へ『今月今日忠義の爲當家へ斬込みし所、惡人小栗美作、卑怯にも逃去り候に付、已むを得ず、此まゝ立退く者也、關根彌二郎源義任』と記す所へワイ／＼／＼と云ふ聲『ハテ怪しき人聲』と彌二郎三階の高樓から瞰下すと、小栗の定紋の付きましたる高張を押立て、多人數押寄せる容子『イヤ猪口才千萬、さては小栗奴、此方を討たんと計りしか、宜し其儀ならば』と、三階より下りると心靜かに『ヤア／＼各位よつく承はり候へ、拙者は越後家の御家に仇なす惡人、小栗美作を討たんため、此家迄乘込し越後家の御指南番關根彌二郎いま惡人共を切つてこの所を立退く者なり、吾と思はん者は、近寄つて討取り候へ、誰彼の對手は嫌はぬ、エイッ』と大刀を振冠つたまゝ、現はれると、一同黑鬼と稱さるゝ關根先生と聞いて、バラ／＼ッと逃る、人なき所を行くが如く、彌二郎悠々と立退きました、併し何れと志す所もないに依つて、越中國立山在里木村に、萬五郎と云ふ者が居ります、此萬五郎方へ志すことに致しました、此人は前年恩を被せたる者にて、關根の家へ勤むること二年にして親許へ立歸り、今は主人となり、立派に百姓で暮して居る、萬々一の時は、手前方へ御光來下さい、力のおよぶだけは御世話致しまするど云つて、萬五郎が寒暑ともに書面を送りますと云ふのは、彌二郎が御新造も御子さんもないから、萬一の秋は、私が御世話を申上げますと云つて居る、不圖その事が胸に浮んで、是は萬五郎の所へ暫時立退いて、御家の容子を窺はうと云ふので、其場より越中國立山在へ立退いたので御座います愈々關根彌二郎が、月見ケ岡の白雲閣へ斬込み、小栗に加擔いたした惡人十三人を斬殺し、何れへか立去たと云ふので御國表にては大騷ぎと相成りました。

◎博文館雜誌の新年號　現に十七種の月刊雜誌を發行する東京博文館にては相續いて新年號を出しつゝあり幼少諸君の理想的雜誌として定評ある幼年畫報、幼年世界、少年世界、少女世界は何れも新案の美圖にして興味ある雙六を大附錄として増刷の間に合はざる大歡迎を受け說話雜誌、家庭雜誌は各冊二百八十頁に増大して而も定價は十錢に過ぎざる如き到底他の追隨を許さゞる低廉といふべく本邦雜誌界の發行部數に於て空前の記錄を作れりと稱せらる女學世界の特別増大號、淑女畫報の特製文庫號、又講談を讓して現はれ何れも國步作家の筋腕福雅なる小說數篇を附錄とし更に青年向學生向きとして臨御の焦點となりつゝある中學世界は頗る妙痛快なる小說七篇を加へ冒險世界は怪傑妖婦の活躍として世界戰爭十六むさした附錄として英語世界は新年に關する結構を滿載せり要するに博文館發行雜誌の特色として推賞するに足る

◎シラガ赤毛染ナイスの光榮　世上幾多の染毛劑中　無要高第一と稱せられ染る時間の早きと染色の鮮に自然の趣に與らざると永く剝げる憂なく且つ簡易に染まるの五大特色を有する最も信用ある白髮染、大阪東京丹平商會の發賣のナイスは過般にスマラン萬國大博覽會に出品して名譽の銀牌を受領し府衛生博覽會にて名譽金牌を受領したりしが今回更に大阪大禮博覽會に於て有功金牌を受領せり數多きシラが染中かく品質の優秀なる點に於て屢々最高賞牌を受領し至大の光榮を擔へるは獨りナイスのみなりと

一月十日九星　本命七赤　十二月六日　丙午　西　取　大安

▲七赤●　楔のきかぬ事有日新事見合　南方は吉暗劍殺▲八白●　慶賀の日轉居入學求職金件家作探婚姻養子女を定むる等萬吉▲九紫●　とんちんかんの事有日新事手控　商事に吉一切の賭事を禁ず▲一白●　めでたき日轉居開業入學求職　造船金件婚禮醫藥等皆吉▲二黑●　最良　澤山の日貸の助力を得て物事成就す　萬事進で吉　待人來る▲三碧●　不運の日なれども新事控目の方吉　普請開發は妨なし▲四綠●　遠慮平穩の事有日　新事手控　普請は吉女難失物に用心の事▲五黄●　安排よき日轉居入學金談名望求職出頭婚禮醫藥等萬吉▲六白●　辨心の起る日轉居入學等　皆進で吉殊に慈善事業を計るに妙待人來る

美人

○○珍妙……一見忽ちにして精神恍惚たらしむ問題美人は曲線か肉體か　郵券二十錢送ればすぐ送る　大阪西區堀江御池通六　寶文堂

●各縣下より禮狀續々着院す●

あざ　そばかす　ほくろ　今スグなほせ

陸軍一等軍醫官吉尾博士先生が數年間苦心研究の結果藥を附けた處が人に知れずに害なく不思議にヨクキク藥を創見致しました是迄種々の賣藥で治療してもキキメなくお困りの方も逃はず一日も早く申込め自宅療法の書物を三錢切手封入申込みの人に限り無代進呈す

東京府下淀橋町柏木百二十番地　東京博愛藥院

數ある中をM印は特に撰ばれて畏き邊に御買上の光を得たる最優良品に御記臆を願ます

三田土ゴム製造合名會社製造　發賣元大阪唐物町四　飯田商店

優等清酒　**一鶴**　京城本町三丁目　電話六五四番　本莊酒店

りん病　淋渇で困る方　多年の慢性も

自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れば其妙藥と自宅療法の詳細を報ず

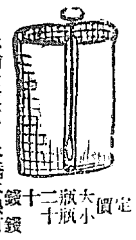
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

驚くべき目藥

醫學と藥學の進歩は年々著しいから、目藥のような物も勿論、學理と實驗により、進んだものを、用ひねばなりません

ロート目藥は、名高い東京眼科病院長井上博士が、多年其病院で、有ゆる患者に實驗した一番よい處方を、嚴正な大藥學士の監査をした眞に理想的の目藥……安心して用ひられる目藥です　目に見へてズン／＼ときく　シュマズ　イタマヌ　井上博士のロート目藥とはそれ此迄りです

試に他の目藥が利かぬ時ロート目藥を試して見給へ！　ロート目藥は一切の眼病に奇効あります併しソコヒには効がありませぬ　眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲に惡いから　ロート目藥には消毒した布と新案の點眼器を添へてある



（下圖の如し）　定價　大瓶二十錢　小瓶十錢

ロート本舗は東京日本橋本銀町三丁目山田安民藥房なれども全國各藥店で受賣して居ります

たんをきりせきをしづめぜんそくに特効あり

今です！　たんぜんそくの流行期は、凡ての人が警戒すべき氣候激變の時は、今です!!　この時期には極めて強壯な人でも風邪を引きがちですが、夫がたん○せき○となり○ぜん○そくとなると決して油斷はなりません、

油斷は大敵　わけてたんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵し遂には肺炎、肋膜炎等に變症し易いから輕症の内に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が

最も肝要です　又數年の難症に惱む人も怠らず服用あらば氣分爽快となり病惱は日々に輕らぎ終に全治するに至る

登錄商標　**龍角散**

主治効能

△たんにて常にゴホンゴホンと惱む人に
△ぜんそくにてゼイゼイ切する人に
△せき頻に出で夜半眠れぬ人に
△流行感冒より起るオチオチ眠れぬ人に
△肺病にて常に力なきせきの出る人に
△たん臭氣を帶びる人に
△小兒百日せき又は血の交る人に
△しかせきの人に
△音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに顯る卓効あり又常々音聲を使用する人の用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

	定價	郵送料
一週間分	二十錢	二錢
二週間分	三十錢	二錢
四週間分	五十錢	二錢
一ヶ月分	一圓	四錢

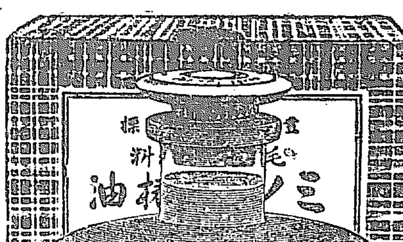
取次　全國各藥店にあり▲賣切の節は本舗へ御注文を乞ふ

本舗　東京神田區豐島町　藥劑師　藤井得三郎　電話浪花一四二四　振替口座東京九一一

椿の實を特に内地に取寄せて冷壓法を以て搾取したる、新鮮純良にして、皮膜を去り、毛髮の衛生に適し色艶を麗しくする

○ミツワ椿油

種類		定價
小壜入		金二十錢
中壜入	五勺入	金三十錢
大壜入	壹合入	金五十五錢
罐入	五合入	金二圓五十錢



（ミツワ椿油現品寫眞圖）

○ミツワ椿油を常用つてゐると毛髮に滲込む力が強いので、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き。毛髮の發育を助け艶を美しくし凝つて臭氣を發することも無く、毛髮の發育を助けて、何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのであります。

贅澤で、經濟で、而して最も優良な

○三百番香水

種類
ヴァ井オレット……（すみれ）
ローズ……（ばら）
リリー……（ゆり）
ムゲット……（花の名）
ミモサ……（花の名）
ブーケー……（花たば）

○三百番香水定價（上記六種の内なれば何れの香ひにても均一）
小壜入……金五十錢
中壜入……金一圓五十錢
大壜入……金二圓五十錢

（三百番香水現品寫眞圖）

○三百番香水は優雅な香で長い時間香を保つ六種の香を發賣いたしました。更に追々色々な種類を發賣致します。

○三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになられる便利な香水であります。

ミツワ家庭藥　ミツワ石鹼　肝油ドロップス　御園化粧品　製造發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目　賣藥、藥種品、石鹼、香粧品、小間物問屋　**丸見屋商店**　電話浪花四四八、四四九、四五〇番　電信略號〇ミナ　振替東京七〇番

寶鑑……全國到る處のミツワ石鹼販賣店、若し最寄に取次店がなければ本舗へ直接注文あれ、郵便小爲替か振替口座にて送金あれば（内地は送料不要）郵送は、代金引換小包郵便にても宜し、東京市内は假令一壜一個にても配達す（市内係販用電話浪花四五〇番）

生殖器の形と力

生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか陰萎早漏遺精夢精勃起衰弱交接不快腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力が現はれ昨日迄心細く思ひし人も像想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞贊湧が如し詳細はハガキで申込あれ圖入說明書無代密送す　物は試めし今直ぐ照會せよ

▲大阪其他奸商の類似品あり警戒せよ

東京神田かぢ町五　電話神田七二三番　東京　眞空療法研究所

○飲み過ぎ○食過ぎ○消化不良○りうゐん○胸の痞へ○胸の痛み○慢性胃弱諸症に妙です　●各藥店にあり

本舗　大阪江戸堀　猪飼史郎藥房

醫化學器械

Ⓚ　仁川本町　北島藥店　電話三三四　振替京城六七番

京城本町　永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

藥種賣藥卸商

(明治三十九年八月十八日第三種郵便物認可)(年中無休刊 大祭日翌日休刊)

京城日報

第三版
九日朝刊 (第二千九百四十號)
本紙定價 一部金五厘 一ヶ月金拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 編輯用長三四五番 營業用長三八番 振替貯金口座京城三〇〇番

下關期米
八日後場 各地安地場弱氣正米師響きの新安

總督の諭告と吾人の覺悟

一、今昔の變遷

寺内總督は新春のはじめに於て管下一般に對し極めて重要なる諭告を發せり、其冒頭に曰く

新政朝鮮に施かれて以還既に五星霜、山河面目を改め、窮民蘇息し昭代の治下將に全土に洽からむとす

と、言は簡なれども意は即ち深く、此數語は以て今昔の變遷を覆うて餘りありといふ可し、

回顧すれば恰も五年五箇月の以前に於て、至仁至德なる明治天皇は、大勢の趨く處に鑑み給ひ、朝鮮の統治權を收めて半島に新政を實施し給ひたり、其御主旨は當時の大詔に炳なるが如く、朝鮮の秩序を恢復し、其生民を撫育し、以て國基を固くし東洋永遠の平和を維持せられむとする大御心に出でたるは何人も其記憶に新なる所なり

當時に於ける朝鮮の狀態を追懷するに、保護制度の實施に依り幾分改善の效果を擧げ得たりと雖も、積弊綱紀の頽廢を遽かに芟く可からず、火賊暴徒は所在に横行跋扈し、一般人民は貧弱の極に陷り、甚しきは流離顛沛僅に饑餓を凌ぐに過ぎざるの狀あり又樹木は濫伐せられて山に青色なく、川は汎濫に委して堤塘崩壞に歸し、慘狀見るに忍びざるものあり

然るに僅々五年の歲月を經たるに過ぎざる今日、其に山川は面目を改め窮民は蘇息し、今昔の變化天淵啻ならざるものあるを見る、其間直接施政の局に當りたる寺内總督の苦心察するに餘あり。

併合の當初、總督は精思熟慮の結果、施政の大綱を擧示して懇切なる諭告を發せり。其主旨懇篤周到、李王家の待遇、功臣の任用、孝子節婦の表彰、備荒救民の措置より士民の授産、教育の補助、凶歉の救濟は勿論、行政、司法制度の改革、憲兵警官の配備、殖産興業の振興、運輸交通機關の擴張、醫療衞生の設備、教育の普及等に至るまで極めて詳細なる施政方針を明にしたり。

然れども當時是等の宣言を見るの多くは其實行に疑念を挾み、言徒に美にして其實行の之に伴はざらむことを惧ふるもの多かりしは久しく秕政の下に苦しめられ、信を政府に置かざりし朝鮮人としては無理からぬ時代なり、又た國家經綸の大綱よりいふも荒圖を拓き窮民を恤ふが如きは素より容易の業に非らず一大手腕に待つにあらざれば到底其成功を望む可からず。寺内總督が今回の諭告中當時を回想して

歲月空しく逝き易く或は實行の言約に違はむことを恐れ、爾來夙夜仲仲として寢食を安せず、唯思ふて到らざる所あらむか、將た行うて及ばざる所あらむか

といへるもの、寔に其衷情を披瀝して餘蘊なし、然れども總督政治が今日の成功を博し得たるは實に總督が苦心の結晶に外ならずと謂ふ可し

支那の鐵道 (五)

支那北方線(續き)

支那が滿洲延長線を計畫しつゝありし際に、最も此計畫に注意を拂ひたりしものは露國なりき。東方の巨人露西亞は豫て太平洋の水を望んで已まず、之が爲めに努力を傾注して拮据經營多年、滿洲に多大の勢力を扶植し得たるが故に、苟くも滿洲の地に於て支那の勢力を增加すべき計畫に對しては強硬なる反對を試みざるを得ざりき。抑も鐵路一貫歐洲の本國と西伯利亞とを連絡せんことは、露國多年の計畫にして、支那が滿洲に自國の鐵道を敷設せんとするの意あるを看取するや、露國は直ちに西伯利亞鐵道敷設の計畫を立て、支那が滿洲線建設に著手する機先を制せんとし、忽にして西伯利亞線敷設に關する勅令の發布を見たり。此新鐵道は烏蘇里黑龍兩河の交流點たるハバロフカ迄北走するの計畫にして一八九一年まで極めて緩漫なりし該工事は俄かに促進せしめらるゝことゝなれり。蓋し露國は滿洲に鐵道を敷設するの權利を獨占するの意ありしが故に、李鴻章の行動を見て懸念禁ずる能はざりしなり。而して一方支那は露國が鐵道敷設權を要求し來らざる前に此計畫線の敷設を完了せば以て將來に於ける外交上の障礙を除去し得べきを豫想したりし也。然るに露國は支那の情勢に鑑み古冶より山海關までの線路延長を以て不可なりと爲し之に反對したるは世人の知る所の如し。此時に當り李鴻章は一八九三年に支那鐵路公司の線路を萬里長城の外まで延長するの勅許を得、其の敷設材料は續々歐洲より旅順口に陸揚げせられつゝありき。然るに恰かも此時日清の役勃發し、此等鐵道材料は悉く日本の拿捕するところとなりたるが、天橋廠に陸揚げせられたる分は之の難を免かるゝを得たり。而して前記の延長計畫は山海關より約四十哩先の綏中乃ち中後所まで實行せられたり。奉天に至るの延長線は政治上の理由より之が實行を一時拋棄せられ、李鴻章は再び舊の計畫に復して通州延長線の敷設を計畫するに至れり。尤も或る理由のため舊時の計畫も少しく變更し、水上の交通を妨ぐべき一切の機會を避けんが爲めに橋梁を以て終點と定めたり。此工事は一八九五年に著手せられ、之に要する資金は香港上海銀行より供給せらるゝの計畫なりき。然るに其工事進捗しつゝありし一方に於て、支那鐵路公司と政府との間に交涉問題起り、古冶より天津に到る全線路を政府の經營に移す事となり、一八九四年の初に契約書の調印を見たり。而して之と殆んど同時に天津より永定門外まで線路を延長せり。永定門は北京城外より近距離の地點にして、首府の門戶までの線路敷設の許可は與へられざりしも鐵路公司は專斷にて之を實行したるなり。此の工事竣工後公司は注意を滿洲方面に集め、日清役以前竣工して既に開通せる山海關綏中線を更に延長せんと欲したりしも、會社の財政甚だ豐かならざりしと、又日清役後露國が滿洲に於ける支那の勢力を伸張せしめざらんことに努力したりしとの二個の理由によりて其の計畫を延期するに至れり。

蘇士の危機

氣候其他の關係上、歐洲戰は目下唯ガリシヤ方面を除くの外、干戈は動かざるもの如く、ガリシヤに於ける獨軍の失敗は、蓋し同方面に於ける重大なる結果を來すやも計り難し然り而して其他の方面の靜穩なるは山雨到らんとして風樓に滿つるの概なくんばあらず、獨軍一度白佛方面に於て一大決戰を行はんとし、其の準備に汲々たりしも、獨帝病んで此の計は、先づ中絕の觀なしとせざる也されば來るべき主戰地としては、差し當り先づ巴爾幹方面なるべきを思はしむ

抑も獨逸が波斯に於て向後如何なる活動をなさんとするやは、頗る興味ある問題なるが、必ずや獨逸が尙ほ波斯を攪亂し、回教徒を煽動すべきは何人も同感ならんも、之れが爲め獨逸が神聖戰爭等を惹起せしむるや否やは未だ聊か疑問とせざるを得ずながらも、其は獨逸が斯の如く波斯を攪亂しな進めざるは或大原因の存するが故なるべし、獨逸にして此の方針を以て進まば、轉じて蘇士、埃及の遠征を敢行するに至るべく、而も埃及遠征に關しては既に土軍の企畫せる實驗あり、而して其の企畫が準備不充分の結果豫期の成功を見ざりしとは云へ、軍事上幾多の實驗を得たるや必せり、當時土國のジエマールパシヤは其議會に於て、埃及遠征は必しも不可能ならざるを述べたり、されば砂漠の横斷も準備如何によりては差迄困難ならざるものゝ如し、而して獨のフオンデルゴルツ將軍は既に多數の獨逸士官を率ひて目下シナイ半島のアレッポにあり、此の軍隊は恐らく砂漠旅行に經驗ある土軍を指揮して一大活動を試むべく、蘇士には英軍二十萬嚴守するあり、其の衝突や、餘り遠きにあらざるを思ふ、而も地中海に於ては聯合艦隊の手薄なるに乘じ獨逸潜航艇が神出鬼沒を擅にし居れば英軍が遙に其の術援を得るには困難なるべく、此の間に乘じてコルツ將軍が、蘇士及び埃及に對して大なる野心を以て、活動の準備に汲々たるは明かなり、而も此の計畫は、英國の對東洋聯絡を遮斷せんとするものにて、萬一之れが成功の曉は英國に取りては由々敷大問題となるべし、之れを要するに獨軍は獨佛、露獨方面に於て大戰鬪的行動の充分ならざる期間に於て、蘇士方面に一大活動を試みんとするにあるもの、如く、從つて今後の主戰場は同方面と見て然るべく前途は頗る注目に値するものあるべし

放浪漫記

大谷光瑞

(承前)午前二時半埠頭に至り、淮水を渡る。淮水の流域は安徽の北部にして、地平潤高低に乏しく、而も淮水の海に入る處甚だ狹少にして決して大河をなさず。故に所々に大澤の瀦留せるもの多し。最大なるを洪澤湖と稱す。淮水各流皆之に瀦せり。故に一朝霖雨の降るや、排除口に乏しきを以て忽ち氾濫し、數萬頃の良田、盡く禾穀を損す。近時淮水改修の議起り、米國技師をして之を計らしむ。小生未だ其詳圖を見ざるを以て、其設計の大要を申上難く候得ども、末端を揚子江に放流するが如く傳聞せり。沿道の官民に障礙あり、未だ決定せざるもの、如し、而して歐洲戰亂に至りたるを以て、無期延期となれり。故に當分は猶窮民の生ずるは免れ難く、惘然の狀態に御座候。晩來徐州に近く、淮水と揚子江の分水嶺を除ゆ。此の分水嶺は丘陵起伏すと雖も急峻ならず、然れども古より兵要の地となし、南京に都せる王朝の、北方防禦の第一線となせる處なり、暮夜浦口に達し、直に江を渡り下關に著す。下關は南京城外の外國居留地たり。翌日南京に至り、高橋領事の御好意により、領事館内に投宿致候。前日淮水を渡り南行せし時、西南方に低氣壓の近けるを見、密かに憂慮致せし所、豫期の如く朝來陰雲四塞、午後に至り微雨斷なたり。雨を冒し南門外雨花臺に至る。是れ東晉の代、大慮生公說法の時、天花を雨せしにより名く。現今花の字を略し、雨臺となり甚だ迷惑致候。然れども臺上より城の内外を觀るに、眺望佳ならざるに非ず。杜牧之の南朝四百八十寺、多少樓臺烟雨中の句を想像し難きに非ず。本日も雨猶歇まず。午後漸く雲量を減じ、雨脚を絕つにより、石頭城に登覽致候。石頭城は現在は城西壁の圍む處にあり。古より王城最後の防禦線となせし處にして、往古は揚子江は、今日より更に城に近かりしが如し。上に石多きを以て名くと云ふ。其他の名蹟を採らんと存候へども降雨の爲め躊躇致候。久しく滿洲に在り、乾燥晴天に慣れたる身は、特に降雨の不快を感じ申候。これより江南の名勝遊覽の豫定を致居候。今回は是にて擱筆仕候。草々不一(此項完)(十一月七日南京にて)

京日詩壇

(丙辰元旦)　佐久間鐵園

天咽烽煙地飽血、歐洲戰局何日決、干戈落々二閱年、天地草木皆凄絕、壯丁盡地上人、兵器鑄竭地下鐵、以勇當勇才當才、戰之不決亦宜哉、憶昔漢楚數百戰、楚常敗漢終勝、聯軍未必終局勝、聯軍今日何須哀、既有全露無盡士、亦有英佛不竭財、財貨無枯兵無減、獨帝雄略遂摧擢、又不見支那南陲捲風雲、義旗早動討袁軍、禹域從此將多事、何人能致濟世勛、吾人賴洛聖恩厚、君民輯睦昇平久、斗柄一轉歲茲新、請君須醉屠蘇酒、

鐵園詞伯頃者寄予以新春所感長篇、予役俗務所仁殺、胸臆空漠遂不得一句、偶觀此佳篇、詞伯既盡言予所欲言、而莫餘蘊矣、乃漫加批圈、亦所以言我志也、　小松霞南識

○丙辰元旦恭賦十絕　成田魯石

情同父子義君臣、七字不磨千古眞。大正五年正月朔、野人長記丙辰春。
東風吹與寸芹伸、便是飛龍第一春。乾德配天坤配地、兆民欽仰聖皇仁。
果然東海有神龍、鱉氣氤氳秋復冬。一自春雷鳴動蟄、階光粲粲玉芙蓉。
執戈神卿開天門、杲杲扶桑枝上暾。瓜瓞綿綿承一系、重光文武照乾坤。
雞人報曉古蓬萊、滄海波平霽色開。[illegible]羽玄冠佩衣客、祥雲淑氣自東來。
天門佚蕩鳳來儀、萬里梯航雲霧披。北海南瀛同一色、春波混碧琉璃。
蓮嶽巍巍帝德隆、御溝冰泮午春風。梅花爲我漏微笑、香動墻陰殘雪中。
鐵艦曾揚絕海波、樵童亦誦大風歌。聖人有喜華三祝、也富春秋男子多。
皇運堂堂升階曦、年滋玉葉又金枝。宮中昨夜符熊夢、元旦還添壽一卮。
天祖降臨大八洲、嘉禾有瑞百川流。一壺春酒神仙手、獻壽千秋又萬秋。

松田學鷗曰、新年賦新詩、句新意亦新、所謂一匹雲錦、滿目妍華者、森川竹磎曰、天纂流麗、能具太平氣象、岩溪裳川曰、大歷三年調玉調玄元皇帝聖雲孫今見嗣響、又曰、作者深於詩一讀知之第一首最推傑作眞不著一字得其風流者他篇不遠相及

○寄懷尹石村　無佛　陳人

昔遊同首跡既陳、繞屋松雲入夢頻、半日清談忘主客、與君心照有誰人。

○佛岩寺

東有佛岩名不空、白雲幽石一溪通、佛留萬國苔碑面、寺歷三朝古道風。

日報俳壇

雉子郎選

落葉

落葉掃ふたぐひ轉ぶ紙の屑　羊兒
宙天に木の葉弄ぶ風ありぬ　同
雀來て枯葉落すや寺の庭　右門
道行けば落葉掻き落す籠哉　三餘

返り花

どかと著きし兵泊る家や返り花　北星
返り咲く貨車積む野の陽射　同
親しさは野犬飼ふ心返り咲く　同
釣瓶あげし碇干す樹や返り花　碓川
返り花老年に得し子と遊ぶ　同
返り花ひそかに酒を造る家　未知男
病む父の噂も用なし歸り花　同
氣忙しく縫ひ掛く歸り花　橙黄子
返り咲く寺に數待つ俥かな　同
要き事に友訪へば返り花　東村
歸り咲く裏戶出て山へ細待つ　雲帝
人と語る母待つ野路や返り花　容堂
此寺と見知る子に巨樹や返り咲く　如泥子
廢驛に殘務署しや返り花　三餘
返り咲く庭や秘める遺言狀　幽谷
薔色に眠る木のあり返り花　羊兒

水仙

曾祖父の知人來る忌や水仙花　潮外星
水仙や笊の尻掻く祈禱婆　蘆中子

新年雜吟　青木靜軒

文に武に日本國をねらが春
初夢や大江に駒進めたる
幸臨る人續きけり初詣
一年の行事もなりて家の春
初晴想て大きなことに出し

大正五年 國民日記

日記界の權威「國民日記」の特色

需要供給の原則によつて年々日記類の刊行さるゝものも少くはないが大方前年來の體裁やら編輯法やらを套襲して唯月日に關係した部分のみを改めるに過ぎないと言ふやうなものが多い。これでは第一一年三百六十五日毎日々々の用に供さなければならない坐右の友としては甚だ不適當である。すぐ飽きられて了ふのは當然である。外形から言つても内容から言つても常に清新と充實とを心掛けて趣味の豐富と實用有益の點に於て我々が活動裡の伴侶たるに適切ならしめねばならぬ。即ち製本及び紙質など吟味して耐久的たらしむべき事、意匠を凝らして趣味あらしむべき事、内容を豐富且實用的ならしめて日常知識の顧問たらしむべき事等ざつと擧げても此等の資格は十分具備してゐなければならぬ。こゝに江湖に推擧せんとする我が「國民日記」は斯かる日記界の缺陷を補ひ我が國民日常必須の要求に應ぜんとして生れたもので、以上の諸點は悉く注意を加へて毫も遺漏なきを期したのである。先づ上等のクロース仕立ての表紙の意匠に眼を見張る間も無く開卷直ちに一枚の吸取紙が手に觸れる。これは言ふまでも無く此日記の周到なる用意の那邊にまで行渡つて居るかを證明して餘りあるものである。それから月々の初めには廣業、清方、蕉園、百穗、耕花、輝方等十二畫伯のそれぞれ特色ある名畫が挿入してあつて飽かず打眺められる。其裏面には月々の季節と式日、行事、節物を面白く掲げてある。さて中に進むと一頁を一日に配して其三分の二を記錄の爲に殘し下方三分の一には古今東西百般の重要知識を網羅して一は日々の誦讀に便じ一は又必要に際して咄嗟の檢索の爲に資してある。尙其欄外には舊暦までも書き添へてあるが之れを掲載する爲には人知れぬ非常の苦心を經たので窃かに此日記の最大特色とさへ編纂者には考へられて居るといふ位である。其他在來の日記類に存するものは一として完備してゐないものは無いが、附錄に載せた五十に近い重要事項の内婚禮の儀式、育兒の栞、家庭救急療法、交際の心得、料理法、衣服の事、花卉園藝の事等をも加へた如きは如何に此日記が日本國民の家庭と言ふ事に眼目を置いたかと言ふ事が證明される。其他重要諸規則、俳句歲事記、年齡早見表、萬年算月表等社會百般の事何一つとして忘れてゐるものは無いと言つて可い。日記界の權威、日本國民の代表的日記と言つても僭越ではない事を信じて江湖に推薦する所以である。

定價金四拾五錢　郵稅金八錢

發賣所　京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

○獨逸の讓步的聲言

華盛頓來電に曰く、獨逸は米國に對しルシタニヤ號撃沈の爲め生命を失へる米人に對し賠償を爲すことを提言し且つ地中海に於ける獨逸潜航艇は非戰闘船舶に對しその性質如何を問はず乘船客を移乘せしむ可き機會を與へずして撃沈せざる可き旨を聲言したり(紐育電報)

○貴州亦遂に獨立す

五日貴州劉護軍使より政事堂及び統率辦事所に向け帝政を止ずんば斷然中央政府と關係を斷つべしとの最後の通牒を電報し來れるは事實にて斯くて貴州も全く獨立したり(北京特電)

▲湯湖南將軍殺害說

湖南將軍湯薌銘は刺客に逢ひ生死不明との說あり湯は湯化龍の弟にて内心帝政反對の志を懷ける爲政府の最も注意せし人物なり(北京特電)

▲討伐軍の雲南内應說

雲南討伐の爲め四川省徐州に駐在せる軍隊三個大隊は雲南軍に内應せりとの說あり(北京特電)

▲新任雲南兩官不承諾

新任雲南將軍張及び劉巡按使は政府に對し就任に堪へずとて任命を拒絶し來れり(北京特電)

▲支那政府の對雲南事件策

支那政府は雲南省に對し討伐よりも内部を攪亂して内訌を惹起せしめんと努め居れるは事實にて右に付政府側にては雲南は近く三派に分裂して自滅すべしと觀測し居れり(北京特電)

▲新民師團出帥令を受く

雲南事變に就き新民縣駐紮第二十師を派遣す可き命令を受け目下極力出師に就き準備中なり(長春特電)

▲京奉鐵道を嚴戒す

南支那叛亂の爲め奉天省内亦人心動搖の兆あるを以て極力警戒中なるが就中京奉鐵道は第一革命の際橋梁爆破事件ありしを以て目下全線に亘り隙間無く軍警を配置せり(長春特電)

▲支那對日借款運動

支那政府は税關收入を擔保として日本より五百萬元の借款をなさんとの意あるが周自齊の渡日には此の件をも含まれ居れりと(北京特電)

▲裴將軍の態度

唐將軍獨立宣言通報に就き確かなる情報に據れば雲南唐將軍より長春旅團衙門宛雲南は獨立宣言の旨通報し來れり是れに對して當地旅團長裴將軍は獨立不贊成の旨返電せりと因に裴旅團長は古參者にして近き内三等男爵を授けらる可しとの評判高し(長春特電)

◎東拓補給法案 二月上旬提出

内務省に於て審議中なりし東洋拓殖會社政府補給金年額三十萬圓給續法案は愈々來る二月上旬を以て議會に提出することに決定したるが同改正案の内容は從來の會社法に何等の改正を加へず單に補給金支給の條項に於て一部の改正を加へたるに過ぎず(東京特電)

◎滿鐵運輸收入增加 百餘萬圓增加

溫暖なりし爲め搬出の便惡く原產地よりの沿線出廻りを減少し結果貨車收入に減少を來せし[illegible]

倉庫收入	一七	九
雜收入	二四	一二七
計	二、七三	三、〇一四

六十二萬九千餘圓の增收となれり是れ大正四年上半期に於て前年度[illegible]

倉庫收入	一五七
雜收入	七九五
計	[illegible]

○南滿と太公滿足

露國太公殿下滿洲通過の節中村都督國澤滿鐵副總裁本郷師團長等長春より安東縣迄奉迎送し滿鐵は特別列車を仕立て車中遺憾なき設備を爲して御旅情を慰め守備兵警官五十餘名警衛し參らせたり太公殿下以下孰れも御滿足の態にて感謝の意を表せり(大連特電)

○太公使命一說

露國皇帝御名代太公殿下の這回日本訪問の使命は北滿洲に對する露國既得權の一部及び樺太北部を日本に讓與するに在りて之れが交換問題として日本より兵器彈藥の供給其他の便宜を得んが爲めに在りとの說あり(東京特電)

陸軍始觀兵式

大元帥陛下には八日宮城前外苑に於ける陸軍始觀兵式に都下の諸軍隊を召され陸軍始觀兵式を擧げさせ給ふ是れ實に御即位後第一次の陸軍始めにて同時に御苑に於ける最初の觀兵式なり此日陛下には大元帥の御正裝に夥多の勳章を佩用あらせられ御姿颯爽として若見侍從武官御先導を奉り御餘諸官、外國武官二十騎餘御後に隨ひまいらせ神尾諸兵指揮官以下の拔劍の禮を受けさせられ先づ轡を北に向けさせられ近衛師團の各隊の前を通御あらせられ更に御馬首を東に南に各隊整列の前を通御あらせられ給ひて玉座前に立たせ給ふ時將に十時五十分引續き分列式開始せらる此間軍樂隊の奏樂絶えず全く分列式を終へたるは十一時二十分なりき斯くて陛下には一萬五千の銃劍の捧銃敬禮中に二重橋を入御あり時正に十一時半玆に目出度宮城前第一次觀兵式を終らせられたり(東京特電)

○第三外債買入

外債第二回目五百萬圓は既に償却濟となりたれば帝國政府は近く第三回目として更に五百萬圓の買入れを爲さんと(東京特電)

○大演習福岡か

來るべき陸軍特別大演習は福岡を中心として擧行することに決定せりと(東京特電)

○主馬頭の更迭

藤波主馬頭の辭表は八日御勅許と同時に左の如く任命ありたり(東京特電)

陸軍中將 澁谷在明
任主馬頭(一等一級)
主馬頭兼宮中顧問官 藤波言忠
依願免本官專任宮中顧問官

○藤波子上院議員任命

正五位勳一等子爵藤波言忠氏は貴族院令第一條第四項により貴族院議員に任せられたり(東京特電)

○太公奉送諸員

露國太公殿下奉送の爲め釜山へ來れる井口軍司令官、立花警務總長、大屋鐵道局長官は八日午前東萊溫泉へ赴き午後十一時釜山發急行に投じ歸任す(釜山特電)

○白仁長官朝鮮經由

白仁關東州民政長官八日出發鐵路朝鮮經由東上せり(大連特電)

○石本代議士東上

石本大連市長は七日歸連十三日更に東上すべし(大連特電)

◎極東露領關稅と朝鮮貿易(下)

朝鮮銀行調査

▲鮮露貿易の影響

今朝鮮より極東露領に對し輸出したる品名及び金額を擧ぐれば左の如し

品名	大正三年
精米	四〇、三六〇圓
籾	八〇三、一九六
生牛	二八、一三五
蔬菜	一、六九一
果實	一九七
藥材	一四、九九九
紙	三、三〇〇
其他	九九、三九九
計	一、一九九、〇四八

品名	大正四年一月より十月迄
精米	二、三三九圓
籾	六一四、一三五
醬油	一、〇〇四
諸飲食物	三五、八〇五
諸藥材	三、八〇三
紙卷煙草	一、四〇四
其他諸煙草	一、一二五
紙	四、三三五
生牛	二三、〇〇一
果實品	[illegible]
其他	五〇、一九八
計	[illegible]

右表に示す如く朝鮮より露領への輸出品は籾及び生牛を以て其大宗となす、生牛に就ては依然として無稅なるを以て課稅の影響を蒙ることなきも籾は一昨三年中十萬五千七百餘石(八十四萬三千餘圓)本年十月までに於て十二萬四千八百餘石(六十一萬四千餘圓)を輸出せり、今回之れに對し一布度に付き六十六哥の輸入稅を課することゝなりたる結果、籾一石に對する輸入稅は何程に達するやを見むに次式の如し(籾一石の重量を二十八貫と定む)

籾一石 28÷6.41×66=4.33

即ち籾一石に對する輸入稅は露貨四留卅三哥にして之を其純分に基き邦貨に換算するときは四圓三十七錢に當り殆んど籾の原價と同額の負擔となるを以て朝鮮籾の露領輸出は今後重大なる影響を被るに至る可し、幸にして現在は歐洲戰爭の爲め露貨は非常なる下落を爲し目下の相場は邦貨百圓に付き百六十留内外なるを以て實際の負擔は籾一石に付き約二圓六十五錢に輕減せらる可しと雖も露貨が將來永く前記の如き相場を繼續するとは之を期待し得ざる可し

▲精米と籾の比較

尙ほ籾との稅率を比較するに精米は從來一布度に付き一留零五哥を課せられたりしも昨年五月露國關稅法の改正により一留三十七哥を課せらるゝ事となり今回の改正に當り何等變更なきを以て從來籾の輸出は精米の輸出に代ふるの結果を生ずることなきやは直ちに起り得る問題なり試みに兩者關稅上の比較を見むに

籾一石より精米四斗六升を得らる可く、精米四斗六升の重量(一石に付き三十八貫として)十七貫四百八十匁即ち四布度に相當するを以て一布度に付き一留三十七哥の稅額となる可し

然るに前記の如く籾一石に對する課稅は四留三十三哥なるを以て之より得らる可き精米四斗六升を輸出するに比して尙ほ一留二十三哥方低稅なることを知る可し。左れば籾の輸入稅率引上げられたる今日に於ても尙ほ精米に比し、籾を輸出する方利益なるの計算なるも他に運賃諸掛り等の關係をも考慮するときは結局精米を輸出するも籾を輸出するも其負擔の點に於て兩者大なる相違なきに至る可きか

◎御眞影の奉安

遠藤秘書官の下關にて大城戸囑託より引繼ぎ捧持し來れる新義州外二十二小學校下賜の御眞影は八日午後九時南大門驛著汽車にて安著小松總務局長代理久芳郡山各課長等奉迎安藤事務官捧持馬車にて直ちに總督府に移送奉安し近日其々各學校に配賜せらるゝ筈

◎政務總監歸任

暫時來郷里山口縣萩町に歸省中なりし山縣政務總監は遠藤秘書官を隨へ八日朝釜山著露國太公殿下にも拜謁し午前十時三十分同地發三本營業課長藤波通譯官和田參事等と共に午後九時南大門驛著歸任せり同停車場には國分長官、關長官、小松、鈴木局長、山形大佐、李完用伯、趙重應子、吉原勝田兩總裁、金谷府尹以下官民多數の出迎あり總監は一々會釋し直ちに遠藤秘書官と同車大和町の官邸に入れり因みに令兄勝津氏の病狀は差して良好の方には非ざるも目下の處同樣の模様なりと

◎兩將長官歸任

八日朝露國太公殿下を釜山に奉送せる井口立花兩中將大屋長官は御召艦鹿島の午餐會に參列したるが同夜行汽車にて九日午前九時南大門驛著歸任すべし

◎瀧警務部長送別會

京畿道より平安南道に轉任を命せられたる瀧憲兵隊長の送別會は八日午後六時半より京城ホテルに於て催したり出席者は檜垣、宇佐美、國分の各長官、渡邊、城の兩法院長、松寺檢事正、鈴木局長、岡本、中村の各技師、吉原總裁、井上理事、山形大佐、隈部新任警務部長、其他朝鮮貴族、文武高等官、民間有力者、新聞通信社長等二百餘名にして發起人を代表して有賀第一部長の送別の辭あり趙子爵又瀧氏の爲に乾盃すべしとて一同之れに倣ひ次で瀧氏の謝辭あり更に一同の爲めに盃を乾し八時散會したり因に同氏は九日午前九時十分南大門發赴任すべしと

◎明治屋支店長更迭

明治屋支店長として久しく京城に在り、德望手腕共に高かりし安藤德太郎氏は今回本店に榮轉することゝなり其後任として本店より内田龜太郎氏來任せり、依て同店にては十一日午後六時より花月樓上に盛大なる兩氏の送迎宴を開く由

公人私人

▲ブリガジア氏(白耳義領事) 七日夕仁川より歸京
▲瀧憲兵中佐(平南警務部長) 九日朝九時十分南大門驛發赴任
▲西田常三郎氏(元山毎日新聞社長) 八日朝元山へ歸社
▲中川浩氏(鐵業家) 九日東上
▲瀧元二郎氏(平南警務部長) 九日午前九時十分南大門發赴任

◎製鐵擴張の急務

大阪鐵工所長 山岡順太郎氏談

▲我國の製鐵事業は從來の例に徴するに其の進歩諸外國に比し頗る遲々たるものあり試みに明治三十年の産額を一〇〇とし明治十年並に大正三年の產額に對する比率を驗すれば左の如し

種別	明治十年	明治卅年	大正三年
金	三四	一〇〇	六九九
銀	二〇	一〇〇	二七九
鐵	一三	一〇〇	三二〇

即ち金に於ては大正三年の產額は明治三十年の產額に約七倍の增加にして銀は同じく三倍弱にして鐵は三倍強なるを知るべし更に大正三年產額の明治十年產額に對する比率は金二十倍強、銀十五倍弱、鐵二十五倍の何れも大激增なるを知ると雖も列强との比較に於て化鑛物以外には由來著しき劣弱の地位に居れる我製鐵事業の進步の跡としては前表の如きは到底人意を強うするに足らざる也

▲我製鐵業增進は過去宜しく金鐵よりも遙かに上位に居らざるべからざるも然して製鐵事業發達の趨勢如何といふに大倉組の本溪湖製鐵所は來年より年額四萬噸以上の產出となるべく又三菱の朝鮮兼二浦製鐵所も同樣に其の計畫を進捗せしめつゝありて之れに既設の民間製鐵所又追々と其の擴張增產の途につき居るのみならず別に新たに計畫せんものも出づべく尙同製鐵所擴張案も本議會に現はるべしと聞く洵に當然の次第にて歐洲の大戰後に於て頗る其の力を強めつゝあるものといふべし若し其れ軍器獨立の上よりいふも產業振興の見地よりいふも我が製鐵業の現狀は尙ほ明かに多事多難なる我が帝國の將來を滿足せしめざる也、帝國の現在、將來の地位立脚地と我製鐵業の現勢は確かに不均衡にして調節され居らざる也、

[illegible]五字攷日月星辰を配したるものにし金製には黃綬の鐶上に黃龍を繡へ[illegible]の銀製には白綬の鐶上に白龍を[illegible]

◎仁川在穀調

仁川港に於ける十二月三十一日現在の穀物在庫數量を聞くに玄米八萬五千二百三十[illegible]叺大豆六萬九千[illegible]白米七千六百九十九叺[illegible]

◎宮部翠嵐氏入京

薩摩琵琶界の泰斗故吉水錦翠翁の門人にして現に東京府教育會囑託[illegible]

最上醬油

特許機械製 ほまれ味噌

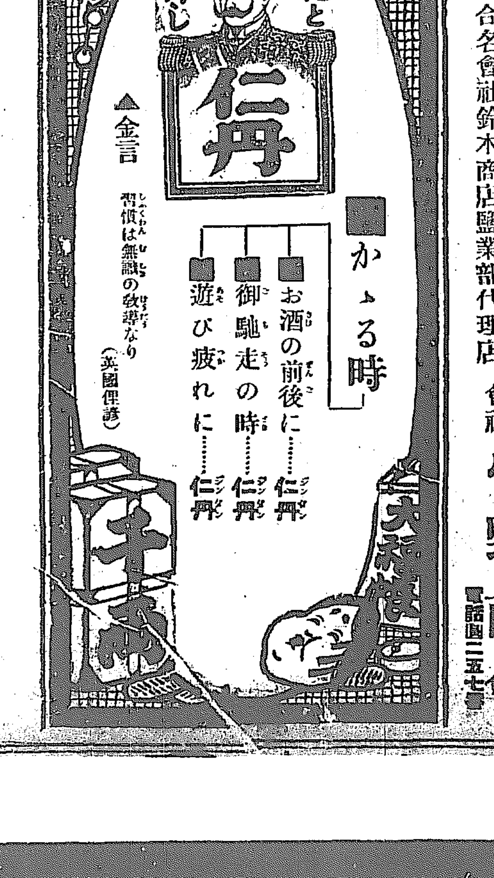
絕對的品質本位

鮮滿釀造界唯一の名譽

於始政五年紀念朝鮮物産共進會 金牌受領

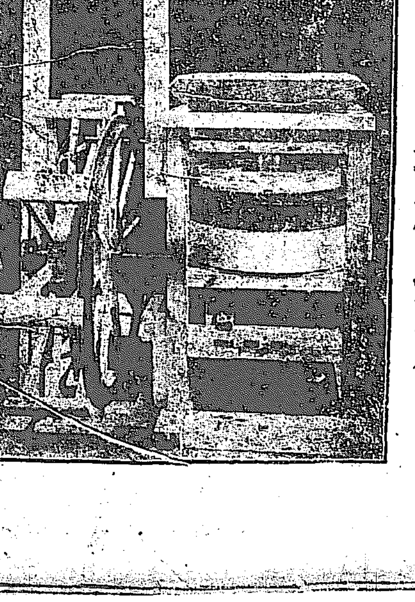
醸造元 仁川港 日本醬油株式會社 電話七五一番 振替京城一七四番

京城出張所 電話二四五番 振替京城五二三番



農家の福音◎籾摺機之革命

特許出願 第五四〇七九號



本機の特長

◎能力は…從來の籾摺臼に比し其の力四倍以上たる事
◎臼減は…從來の臼に比し耐久力の六倍以上たる事
◎碎米は…從來の臼に比し最も僅少なる事
◎摺上米は…臼の構造に依り自然の光澤を有し品質を良好ならしむる事
◎特約店御希望の御方樣は御申越被下度出來得る限り御便宜を計り御相談可仕候

改良籾摺機
島田式足踏精米機 製造販賣

朝鮮瓦斯電氣株式會社工事代理
古河合名會社門司支店代理店
合名會社鈴木商店鹽業部代理店

釜山幸町二丁目 合資會社 小野商會 電話二五七番

…を前年度同期に比すれば十四萬一千…の減收にして其重なる原因は特に…輸出盛期に當り昨年は氣候比較的…内容左の如し

	四年十二月	三年十二月	增減
客車收入	四三九千圓	三七八千圓	六〇
貨車收入	一二二九一	二四九八	減二〇六

…千六百十七萬圓餘を前年度同期の千四百五十四萬圓餘に比すれば結局百…

▲後期累計

客車收入	三二〇六	三二一五	減九
貨車收入	二二〇一〇	一〇五〇六	…

…帝の肖像を…て之を…裏に帝國開國記念章の一…四、三、二等は…圓形にして徑…

◎二十二叺小豆一千二百五十一叺小麥四千八百七十六叺荏子二百三十一叺綠豆五十三叺籾六千九百八十六俵粉米八百十六叺粟…七十叺胡麻五百三十叺精米五百三十六叺なり

…旅館に投宿中なるが當地には十五六日頃まで滯在し諸團體各集會の招聘にも應ずる由

●獨探の計畫破る
東京區裁判所の大活動

東京區裁判所檢事局に於ては七日早朝より密議を凝したる末檢事二隊に分れ各々書記二名通譯一名宛を隨へ一ば築地へ他は赤坂へ向け出動したり事件の内容に就きて探聞するに去三日東京憲兵隊藤川曹長の手に依りて逮捕せられたる獨國人アーレン(三〇)瑞典人ブルペック(三八)の二名に關聯したる事件にして兩名は客冬二十日二人

▲共通の旅行劵を僞造し多數の軍用秘密地圖を携へ見事に各地官憲の眼を晦まし本邦に入込み佐世保、吳舞鶴の各軍港を視察し北京、上海間に數回暗號電報を交換し何事をか重大なる畫策を爲す所あるもの丶如く本月二日東上し日比谷公園前東京ホテルに投宿したるを前記藤川憲兵曹長に看破され即日關係裁判所たる神戸地方裁判所に護送せられたるが

▲取調べの結果獨探行爲の事實曝露したるを以て今回區裁判所の活動を開始するに至りたる次第にて二隊に分れたる檢事は築地明石町なる獨逸商館ガリウーツ商會の家宅搜索を爲し有力なる手紙四十三通を押收し一方東京ホテルにてはベツクの室に於て同人の遺留したる鞄より秘密の鍵に値すべき證據品を押收して引上たり右の結果事件の火の手は益々擴大するもの丶如く目されつ丶あり(東京電報)

●袁總統家庭の不和
雲南事件發生以來兄弟の爭

雲南事件發生以來袁總統の第二子克文は兄克定に對し父を此の厄に陥れたるは兄の罪なりとて克定を責め家庭爲に紊亂すと(北京特電)

●疑問の一大建築
支那新政府の政廳乎

河南省洛南の西方三哩に二百三十地を買收し五箇月以前より十六萬元を投じ宏大なる土二千名の工夫を使役し一大建築に從事中なるが材料は天津より運び規模宏壯堅固を極はむ其の目的秘密にて知る者なく地方人は新帝國の首府を此處に移す準備なりと云ひ居れり實地を調査したる外人も何人の計畫なるやを疑ひ居れり(北京特電)

新大關のニコ〱　部屋で新番附に喰入つてるところ

●夫殺し豫審決定
不敵なる姦婦

京城大平通二丁目三百三十番地居住の江口岸事江口きし(三九)は同居人なる三澤告(三三)と共謀して昨年六月中本夫江口壽太郎を毒殺したる事件は其當時本町署の手より犯人を檢擧し京城地方法院に送致したること略報する所ありしが其後兩人は豫審取調中の所愈々終結し有罪と決定したり今其罪跡を詳記せんにきしは岡山縣吉備郡總社町生れにて壽太郎の妻となり今より十數年前共に渡鮮し京城長谷川町北米倉町等に於て菓子商雜貨商を營み來りしが壽太郎は性遊惰淫逸にして嘗て情婦を作り私生兒を擧げたることあるのみならず生活上の事など別に意にも介せざる方にて數年來梅毒性の神經痛に惱され常に臥床勝なりし爲め其間きしは一家の世話事に苦しみたること尠からず殊に壽太郎は片意地者の上に妻よりも約二十年も年長者なるに加へて多病勝なるしよりきしは數年前店員として雇ひたる秋山某とも密通したることあり次に三澤告は千葉縣千葉町生れの者にて大正三年十一月頃より兩人は夫の目を忍びて情を通じ大正四年三月中に同人をして壽太郎方に同居せしめ不義の快樂に耽り貪饕と痴情とに原因して壽太郎との間に風波絶えざりしが同年四月中旬北米倉町の雜貨店を閉して太平通現在の住宅に引越したる以降家には一文の收利もなく負債嵩み一方には兩人の間愈々濃厚となりたり然るに同年三月十三四日頃告の實弟三澤一は自巳の妻に對し實兄告が病臥の際汝が介厄手當を盡し遣らざりし爲め兄は他家に同居するに至れるは誠に心外なりと慨嘆し夫婦喧嘩の末共に毒を仰ぎて自殺せんとしたる折しも其血相に驚きてきしは一の跡を慕ひて同家に立迚し現場を認めたるきしは同人等を宥めすかし其手にせし毒藥ストリキニーネを壜の儘引つ攫みて持ち歸りたり其後右の毒藥を以て猫を毒殺せんとして却つて飼犬を誤殺したることありきしはつく〲現在の境遇を熟考して寧ろ夫を毒殺せんと決心し其機を覗ひ居る内同年六月十一日夕刻晩餐を用意するに方り其席へ居りし蝦の天麩羅は夫の好物なるを幸ひに右のストリキニーネを耳掻きに約半分量許り楊子にて混入し同日午後七時過頃壽太郎に侑めたる爲め何心なく之を食したる同人は同夜九時頃より非常に苦悶を初め中毒に起因して壽太郎は同十一時半遂に絶命したり右に就き三澤告が共謀したる點は證憑十分ならずとの事にて同人は免訴放免となりきしは不日同法院の公判に附せらるべし

●二名を殺し三名を燒く

平北碧潼郡別加面加上洞許仁國方へ住所不定の金洙河(三九)なるもの客月末侵入し折柄仁國不在なりし爲め金品を强奪せんとして仁國妻の金永洙に發見せられ誰何されたるより鋭利なる小刀を以て永洙を斬殺し尙居合せたる長女龍女(二)をも踏殺し金品價格約百三十圓のものを强奪し次いで長男許龍(一)二男許鳳(七)三男許鶴(四)の三名は一室に閉塞して外より脫出し難き樣なし置きて賊は家の二箇所より放火して逃走したりしが三名は幸くも火中より逃れ出で丶一命は拾ひ得たるが家財全部烏有に歸したり右事件の突發するや所轄宮憲にては犯人の檢擧に全力を盡したる結果雲暘里憲兵派遣所員の手にて遂に兇惡極まる右金洙河を逮捕したり

●仁川港の海難

仁川港許順丸附屬船日本形帆船杜麗丸は客臘二十七日仁川庄野支店所有の玄米六十六叺大豆十五叺を積み黃海道延安郡去來浦を出帆し仁川に向つて航行中本月四日仁川港口に於て激しき風浪の爲め自由を失し遂に小月尾島附近の暗礁に擱坐し船底に破損を生じ海水浸入を始めたるより附近航行中の船舶に救助を求め乘組員及び積荷の一部は移乘せしも玄米五十八叺と大豆四叺は濡れ損となれり

●小山畵伯逝去

洋畫家の巨擘小山正太郎氏は急性肺炎にて七日午前七時逝去せり(東京特電)

●火鉢で頭を割る

仁川港繫留中の八幡丸乘組船夫李景文(三二)同木炭船々夫張景默(三七)の兩名は客月三十一日午後六時頃何所で飮んだものか舌の根も廻らぬ程酩酊し仁川海岸町酒幕金守元方に暴れ込み同家に來合せたる高行道(三三)に喧嘩を吹掛け暫し口論の揚句張は其場に有り合せたる金火鉢を取り上げ高に投付け高は頭部を割られて打倒る丶や李は傍にありたる棍棒を取つて滅多矢鱈に亂打し數箇所に打撲傷を負せたる爲め前記兩名は訴へられ傷害罪として引致さる

●花柳界の名物女
逝けるおゑんのこと

元京城券番の藝妓桃太郎事今千代本の千代鶴の阿母おゑん事田中ゑん(七五)といふ婆さんの棺を擔うたさいふ事は此の社會の名物女な一人亡くしたわけなのである、おゑんの葬ひは六日生前懇意にしてゐた

同郷の人々千代本喜久家の女將等の肝煎りで淋やかなうちにも亦賑かに行なはれた、同人は京都の生れ、十五六の時分

祇園から舞妓に出て亡くなつた井上侯坊城伯爵の寵遇を受けたが丹後の宮崎千賀良助といふ人に落籍されて堅氣になつた。その儲櫻漸く色褪せんとする四十歲の頃千賀家が落目になつたところから男のために祇園の館屋からおゑんと名乘りて再勤して以來三十八年晒餅に來て六十幾歲まで兎もすれば朽ちんとする色香をば天成の麗容と持前の侠氣とで繋ぎ止めたのであつた、おゑんが初めて仁川に來たのは卅六年、暫らく同地にゐて翌る年に京城に移り

六十の老軀で新町に家形を持ち第一樓などから藝妓として現はれたものだす、その時分發女の桃太郎(實の妹の娘で姪に當る)を花月から三百五十圓で藝妓に出しそれと新町で幾らか稼ぎ蓄めたのを資本にして足を洗ひ高步の金など貸附けてゐたがそれが此頃では

利に利を産んで五千圓近くの額になつた、然しその五千圓の金も皆證書になつてゐるが取れさうに思はれるのはその百分の一即ち五十圓あるか無いかといふ、一體高利の金など貸す位だから冷酷な婆さんの樣に聞えるが實は

非常に世話好きで自分が一度世話をしたさなるとその人間が惡運になれば成る程深掘りして行くといふ風であつたので見す見す回收は覺束ないと思ふ者に對してもドシ〱出したものだ、そんな風で債務者の名を見るに京城を失敗して立退き今では平壤、名古屋京都大阪などに行つてる人達ばかりださうだ、それでも

心かけのい丶亦には親ひとり子ひとりと賴みにした桃太郎が昨年の暮若槻の手許から男と共に投げ奔つて藝妓にな

つてしまつてからといふものは死後に人の世話にならぬ樣と用意か整つてゐた

蟲が知らしたといふのか暮の二十七日の日に起上り歩れるくらゐに起きて車に乘つて千代本とか村上寶商館とかへ小生世話になつてる所に挨拶に廻りそれとなく此の世の暇乞をしたのであつた

氣丈な事には死ぬる間際にも三ケ日丈は立派に好きな燒芋など喰べて不吉な事の差閊つてる樣雜煮など祝ひ、死ぬ四日の晩には何の苦しみも無く眠るが如くに極樂往生したのだ、生前の望みは人の世話をする事と朝鮮で自分の目的が達して金でも出來たら京都に歸り山科の澁りに住んで大石神社をより以上に取擴げたいと言つてゐたがそれも今では果敢なき夢となつてしまつた、何にしても氣丈な女であつた

そして親子の間が面白くないまゝ後に殘された桃太郎の千代鶴は京都以來知合で今度もいろ〱世話をした村上天眞氏が遺骸に詫びて仲なおし千代鶴の今後は千代本喜久家の女將が監督して面倒を見る事になつてゐるとか

●金指輪が種に

仁川松坂町十四番地佐藤某方雇人支那人畢世仁(五)は客月五日午前十一時頃同家雇鮮人權蓮(一七)は主人佐藤某の妻眞子が不在中眞子の居室温突に同人所有の金指輪一個が置きあるを見て嵌めて見たくなり自分の指に嵌めて見ゐる處を發見し自分に一寸見せよとて受け取りたる儘如何に催促するも返さず自分の云ふ事を聞けば返して遣るとて無理無態に情を通じたる上指輪は猶も返さざるより其旨主人に屆け出でたれば仁川署に引致され目下取調べ中

●帆船の遭難

香川縣小豆郡安田村高橋力藏は自己所有の帆船金龍丸(百三噸)に石炭を滿載し本月四日江原道三陟郡臨院津へ寄港碇泊中同日午後十二時頃より北風荒み激浪の爲め投錨の儘同港の南方約二十町の沿岸に漂流しつゝ翌午前一時二十分頃岩石に衝突し船體全部破壞したるも乘組員全部六名は幸くも著陸することを得たり損害見積額船體一千圓石炭六百噸六千圓合計七千圓也と

●大神宮に大鳥居

仁川後援會にては東公園大神宮に檜造の大鳥居(建造費四百餘圓)一基を寄贈したりと

●仁川婦人新年會

仁川の篤志愛國兩婦人會にて九日正午より仁川ホテルにて新年宴會を催すべし

●漂客の盜み

奈良縣高市郡八木町生れ當時京城蓬萊町一丁目中野方居大工村瀨定次郎(三三)は横領前科一犯の者なるが昨年八月七日夜京城新町遊廓綠亭へ登樓し娼妓金龍事石川せいを敵娼として一泊し翌朝歸宅の駄賃にと金龍の部屋にあつた鏡臺の抽斗より同家仲居村田さわの所有なる銀側懷中時計一個(價七圓)を竊取して自宅に持歸りて隱匿し居る內同年九月他の犯罪に依り永登浦分監に服役し同年十一月滿期放免後同月十七日前記懷中時計を自己所有の縮緬兵兒帶と共に南米倉町古市質屋に金三圓にて入質したることを本町署の警官に發見せられ取調べの上同署より檢事局へ送らる

●牛乳賣子の惡事

廣島縣芦品郡若谷村生れ京城蓬萊町四丁目肥塚方同居有田茂夫(二)は昨年五月より十二月迄西大門外冷洞牛乳搾取業西尾方に配達夫として雇はれ中十一月中長谷川町二丁目森下方外一戶より牛乳代二圓十錢を横領消費し尙主人所有の靴下、袷、帽子等を盜取したるを解雇後發見せられ本町署に引致せらる

●花園町猩紅熱

京城花園町百二十七番地森田方にては過般一名の猩紅熱患者を出したるが感染したるものと見え同家のあや子(六)は六日發熱九日午前十時診斷の結果猩紅熱と判明したり

●六百圓の抵當

京城諫洞無職沈遴澤(三)は十二月十三日兄の居宅なる土地九十八坪木造瓦葺一棟及び附屬建物一箇所を社稷洞黃秉熙に賣渡しあるも未だ登記の手續きを了せざるを奇貨とし實父沈宜平及び黃秉熙の印章を僞造し京城府廳にて印鑑證明を受け京城地方法院にて登記を了し以て旭町二丁目渡邊某に六百二十五圓の抵當に差入れて右の金員を騙取したる爲め本町署に引致せられ取調べの上檢事局に送らる

●少年無錢飮食

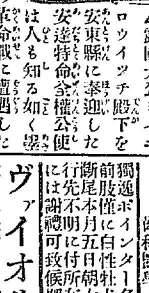
奈良縣北葛城郡橋尾村生れ京城苑南洞山田方同居大西英夫(二〇)は十二月三十日午後十一時頃黃金町二丁目飮食店島つる方に至り二階の一室に於て酒肴を命じ翌午前二時迄に四圓五錢の飮食を爲し勘定書をつきつけられて所持金とては一文もなく窮くなりて傑へたるも居主に告訴せられて本町署にて取調べらる

●電球を盜む

京城水標町李然雨(二)は十二月二日本町一丁目の有樂館にて電球三個(一圓二十錢)十二月十八日は櫻井町大正館にて電球五箇(一圓八十錢)を竊取し之を賣却して飮食したる爲め本町署の警官に取押へらる

●忠州放火騷ぎ

客臘三十一日夜十一時忠州錦町飮食店內田亥內(三)方に放火せるものあり將に大事に至らんとせしを通行人が發見し



▲露國太公ミハエロツイツチ殿下を安東縣に奉迎した安達特命全權公使は人も知る如く墨西哥駐劄中數度の革命戰に遭遇した人である▲過日も釜山から安東縣に向つたとき當時の追懷談が出て墨西哥では隨分悲慘な光景を目睹したといふやうな談から公使は低應談しを試みた▲私が歸朝したのは昨年の盛夏八月であつたが夫れまでの墨國の紛亂といふものは實に何とも喩へ樣がなく▲先づ佛蘭西革命と應仁の亂と水滸傳とを一緒にしたやうな騷ぎであつた▲現に私が觀た丈けでも悲慘なる市街戰が前後八回も試みられたが、それが皆劍で突くとか斬るとかいふのでなく何れも機關銃でバラ〱やるのだから日本公使館のあたりは度々屍の山を築いたものであつたと

◎訂正　七日朝刊三面『興味深き朝鮮の新年』の項の下に『商陽警察署長安藤警視の談』とある可きを脫漏したれば玆に之を訂正す。

◎妙心寺開講　臨濟宗妙心寺別院にては九日午前十時を以て今年の開講を爲し尙ほ十日より十四日まで午後六時半より接心あり

生徒募集

京城府堅志洞四十六番地(中央市場より西へ入る)
各學校入學試驗豫備講習堂
各種專門學校入學試驗期日切迫に就き特に三ケ月速成課を設置す志願者は至急申込るべし教師は多年內地中學校教授經驗を有する者

新刊書御案內

書名	著者	定價
縮刷 門	夏目漱石	九五
家庭 日本歷史	內野月枕著 結城素明畫	二、三〇
泰西の繪畫及彫刻 繪畫篇第二卷	洛陽堂版	一、三〇
アラビヤンナイト上卷	杉谷代水譯	一、八〇
曲口傳	寶斗九郎口述	一、九〇
社會と道德	井上哲次郎	二、八〇
美術と社會	岩村透	一、三〇
最新 式辭と演說	大町桂月	一、一〇
實例豫防 諸貸金回收の秘訣	花井卓藏	九〇
家長原獰	特讀	一、三〇
芭蕉句集講義(冬之卷)	角田竹冷	三、八〇
禪一夕話	釋大拙居士	九五
女の肉的研究	羽太鋭治	九五
猥談 色くらべ	桃葉、文車、芦州、鱗應、伯鯉、小せん	一、〇〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

京日案內

◎普通　一回前金三十錢(無割引)　匿名一回每に金五錢增

職人夫婦家內額物表裝師履度表裝部店一任致度京龍に保證有人　龍山元町電話四一六番　◎田中古物店　220

◎番外　一回前金六十錢(無割引)　匿名一回每に金五錢增

◎乳香子預り度し　身體强健齡廿六歲乳を澤山有す希望者至急に　新町三、壹七　辻嘉吉內　△內田キヮ　212

◎朝鮮語科　新學期開始　三ケ月修業　217

◎英語科　新學期　各級補欠　南大門通(漢城銀行向ひ)京城靑年會

東京中川　懷中電燈　値下げ　卸小賣　本品の優秀是非一度他品と御試あれ　定價表無代進呈　振替京城二二一九　京城黃金町　電二九一八　川合時計店　197

▲開業　京城壽町　浦尾旅館南横　齒科醫學士　辰市拾三郎　齒科及口腔外科　治療の需に應ず　辰市齒科醫院　210

獨逸ポインター名ベル　黑褐胸部並に前肢僅に白性牡犬年五月營養良好斷尾　本月五日朝七時より九時迄に行先不明に付所在御一報被下候方には謝禮可致候　櫻井町二丁目　中井方　223

ヴァイオリン教授　從來通堅實なる教授す目下入會好期　京城本町二丁目　元明治町勸商場跡　四絃會　218

恩給年金類低利長期立換短期　無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候　京城南大門外　御成町　山口屋　224

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地　京城日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　104

◎質　完全なる倉庫の設備あり　京城吉野町一丁目(南海湯下降)　南海質店　191

◎藏働人　名數至急入用　但し酒業に經驗ある者希望者直接に來談あれ　京城蓬萊町　電話壹〇〇六七番　三巴酒造場　226

拙者は

かぜの神である、年中あらゆる人間の油斷をのみ覘ふてゐる、而も今は拙者の最も得意の時候だから、ドシ〱肺炎や窒扶斯の種を蒔て苦しめてやる、其中酷く侮る奴は用捨なく殺して了ふ

然しハカリ印のヘブリン丸は拙者唯一の强敵である、拙者が如何に暴力を振ふても忽ち擊退されて了ふ。

實にハカリ印のヘブリン丸には流石の拙者も兜を脫がざるを得ないのである。

本舖　大阪　參天堂藥房

大阪田口のヘブリン丸を左の商標其他ハカリ印のヘブリン丸と改稱したり

千生瓢（91）
須藤南翠作　筒井年峰畫

七本槍（五）

筑前守が側小性の中で、最も年少なのは、伊木半七と、櫻井左吉であつた。兩人ともに心を劍道に傾けて互ひに鍛錬を競つて居たが、今日も兩個は餘の打物を携へず、家重代の業物を腰に帶して、指物美々しく出陣した。

浮足立つた佐久間勢に追ひ縋つて存分の高名をしようと、捷徑を取つて馳せ行くうちに、其路の合する處で、兩人はたと行き合うた。

『半七か、獲物はあつたか』

左吉は莞爾として詞をかけた。

『おゝ、左吉、お互ひにまだ少年ぢや此一戰に拔群の功名して、仲間の侮りを雪がうと心懸けるが、まだ是れぞといふ敵に合はぬわ』

『能う言うた半七、其方は十七、我は十八。一騎駈の戰は今日が初めぢや。お互ひに隨分と手柄をしようぞ。佐久間勢は、今山の細道にかゝつて一列に退くと考へられる。我は山の左から進めば、間近く敵に會はふ程に、此嶮道へ入つて來たのぢや其方は何れから敵を覗ふ氣か』

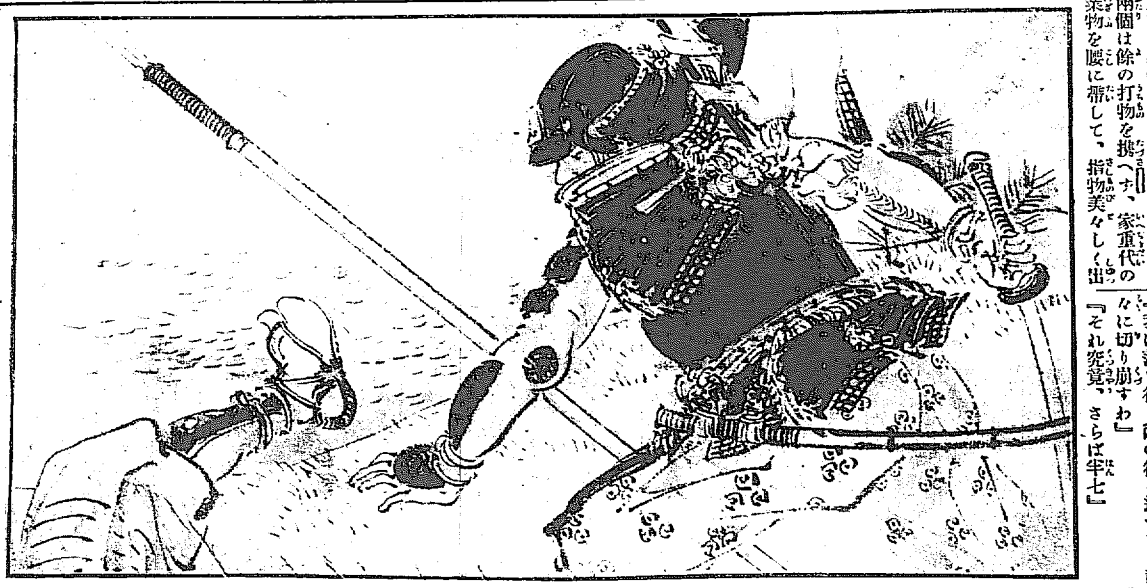
『我は落ち行く敵の後を逐つて。散々に切り崩すわ』

『それ究竟、さらば半七』

『左吉、重ねて逢はうぞ』

互ひに笑を含み合つて、右と左に立ち別れた。姿は白面の少年ながら心は荒猛者よりも剛であつた。

櫻井左吉と袂を別つて伊木半七は遙かに走る北國勢の後姿を睨みながら、道なき山路を逐つかけたが、大崩れに崩れ立つた兵の癖とて、誰一人踏み止まる者もなく、雪頽をうつて落ちて行く。半七は精氣を勵し何處までもと逐ひ行く處に、佐久間玄蕃允の侍大將、伏崎段右衛門といふ者、遙に逐ひ來る若武者のあるを認めて、



『年端も行かぬに殊勝に敵を心懸けるよ。さらば、我首級にして、本陣へ土産にせう』と、莞爾と微笑むだ、馬の首を引廻すと、一くわし當て取つて返し、

『足弱も厭はず、飽まで我を慕ふ殊勝さに、大崎段右衛門引つ返し道はしたわ。其方は何者ぢや、名があらば、疾く名乘れ』と、槍鋼々と引扱いて、飛電の如く突き出した。

半七は飛鳥の如く身を交して、

『羽柴筑前守秀吉が近習に、伊木半七とは我が事よ。今年取つて十七歳一度も敵を切らぬこの太刀、初めて汝の血を染めようぞ』と、思ふまゝの廣言して、一刀すらりと引き拔いた。

『思ひの外の少年ぢやな。我は今年三十八歳、我が兒の如き其方と槍を合すも、必定前世の緣でかな。いざ參れ、接うて得さするぞ』

段左衛門は十分に思ひ侮り、唯だ一突きに芋刺しにしてくれようと、槍を廻して突きかけた。半七は輕快である。地を這ふばかりに身を沈ませて、つか〳〵と付け入るかと見る間に、大上段にふり被つて、躍り上つて大袈裟に斬り下げた、刀の冴の鮮かさに、段左衛門は鞍を辷つて撞と落つ。半七は礑と足下に踏み止めて、『えい』とばかりに首を打ち、太刀の尖に貫ぬいて、三度ばかり跳り上つて、勝鬨を唱へたのは、花も實もある武者振であつた。

嶮岨を踏み、熊徑を傳うて、左より敵を慕うた櫻井左吉は、遙かに嶺を仰ぎ見るに、越前大名に斯人ありと聞えた、宿屋七左衛門尉兼清、足場好き處に馬を駐めて、慕ひ來る敵を擊ち拂ひ、命は義に仗つて輕し、弓矢取る身は名こそ惜けれと思ひ極めて、一歩も去らず奮戰するのであつた。

左吉は嶮岨を除えて、韋駄天の如く馳せ向ひ、大半月母衣出しの指物に、皐月の曉風を嘲ませながら、家重代貞宗の三尺八寸をふり被り『宿屋殿と見受け申す、御不足ながら櫻井左吉、見參申す』と叫びもあへず切つてかゝる。兼清も莞爾と笑つて、二尺ばかりの乃廣の槍をさし伸べて、太刀を拂うて突きかゝる。

新刊紹介

▲鑛産物工業分析法（船木時三著）近時製造工業が概狀的方法から集約的方法に移轉しつゝある爲め分析と云ふ事が非常に必要となつたそれが爲め著者は十數年分析に從事せられた其蘊蓄を傾けて斯業に貢獻したいと云ふ顯現である工學博士渡邊俊雄氏の校閲を經しもの（發行所東京神田區表神保町九番地富山房定價金貳圓五拾錢）

▲快國民（新年號）（七錢東京神田錦町三の九國民實料大學院發行）

▲フースヒー（新年號）（一部五錢東京市外多摩郡澁谷町其社）

▲ホトヽギス新年號　普通告號にして小劇の雀の巣を卷頭に載す虛子の十九日間、左衞門の赤腹日記併せ讀むべし最後に進むべき俳句の道、子規の句冊畿（虛子）たる外に俳句に關する記事大半を占むれば其道の士の必讀すべき處なり（特價金四十六錢東京市牛込區船河原町一二ホトトギス發行所）

商況

大阪三品　[illegible]

大阪期米　[illegible]

▲後場の商戰　[illegible]

▲依然下げ足る　[illegible]

八日の三月限　寄付　[illegible]

實買取組高　一月限　二萬一千九百石　二月限　一萬九千九百石　三月限　九千五十石

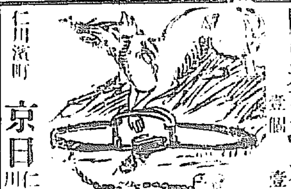
蛇印アンチピリン丸
かぜ　ねつ　最良藥
早く治る藥　よくキク藥
さむけ出で發熱し頭痛し手足だるく水ばな出る時本劑を服せば不思議の効あり（價十錢、十五錢、廿五錢）にせ物有り此の商標に御注意
本舗　大阪東京　丹平商會

胃病新藥　マーゲンソ
胃病快治法
特約店　京城南大門通二新井藥房　大阪本町五田畑保藥房

ちの良藥
内用　痔退丸　外用　退痔劑
安川藥劑官制製の本劑は實質の善良さ効力の卓越せるは一般に信用あり論より証據は試し見給へ
内用痔退丸は病毒を撲滅除去して外用退痔劑は脫肛出血痔核を治す
定價内用卅錢五十錢一圓外用同價
本舗　東京市日本橋區上槇町　安川晃榮堂
全國藥店に取次あり

醇良清酒
大阪府堺市　醸造發賣元　肥塚源次郎
特約販賣店　京城本町二丁目　佐藤牧太郎
同　本町三丁目　明治屋支店

安奉沿線五龍背驛を距る二丁
滿洲　五龍背溫泉
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
■風光絶佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

米國ビクター會社製
獸類捕獲器　壹個　壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ　取器械

仁川濱町　京日仁川代理部

醇良清酒　白鶴
仁川本町三丁目　增本酒店
電話一〇九番　振替京城六一九番

入院隨意（普通病室並に隔離病室）
京城旭町一丁目［鈴木醫院跡］
小林醫院
醫學士　小林千壽
電話六九二番

ホンノリと色白くなる
レートフード
地肌の美しさ
冬の寒風にも肌を荒さず、使ふほど肌理を細かに、而かもホンノリと色を白くし、隱し化粧として他に類なく、白粉下として化粧映せしめ
眞底から美しくなる
レート白粉　レート歯磨　レート洗粉　レートフード　レートデヱリー　クレームレート　乳白化粧水レート　透明化粧水レート
本舗　東京大阪　平尾賛平

營業課目
船具金物、鐵道、鑛山、土工建築材料、ペイント及油各種
天幕雨覆製作、朝鮮苫有
直輸入品ハゞクスペイント類及各種ロープ類ハ戰亂ノ爲メ暴騰致居候處特ニ相働キ御用ニ應ジ可申候
總督府認可船燈救命具信號器販賣所
近江帆布株式會社朝鮮一手特約店
大阪小森製鎖場製品朝鮮代理店
仁川本町一丁目電長五六振替京城五九九　村谷吉藏本店
平安北道義州城内電長二一振替京城九八一　支店　義州印刷所

りん病　ばい毒　豫防品
ルーデサック卸小賣
京城南大門外停車場通ドラッグ商會滿鮮本部　電話二五六七振替四六七

滿蒙處分論
露國クロパトキン將軍原著　日本大井包高譯　定價金一圓　郵稅六錢
京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　一月　日後四時出帆
君が代丸　一月　日後四時出帆
神代丸　一月　日後四時出帆
有詳山伏　一月　日後四時出帆
大東京行
丸見丸　十二月廿九日後五時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　一月十一日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　一月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　一月　日後五時出
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　一月　日後十時出
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　一月十　日後九時出
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　一月　日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日吉日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸　一月　日　前八時出帆

阿波共同汽船仁川出帆

第一共同丸　朝鮮沿岸主要港に寄港 [illegible]　一月九日後二時入港　一月十一日前九時出
第一阪鶴丸　城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　一月　日　後九時出港
（元山出帆）
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目　電話一〇八番　仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部　電話二四四七番
京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆

○外航所屬船路 [illegible]
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
須磨丸　一月十七日　午後五時
天智丸　一月十三日　午後五時出帆
溫州丸　一月十一日
×○木浦、釜山、長崎行
安東丸　一月十　日
城津丸　一月十七日　午後二時出帆
○大連行
安東丸　一月　日　午後二時出帆
城津丸　一月十三日
◎木浦大阪行　臺北丸　一月　日　正午出
×◎群山神戸大阪行　汕頭丸　一月九日　後五時出
○群山、釜山、濱濱行　チヨイサン丸　一月十五日　午後四時出帆
△△○大連直行　潮州丸　一月廿六日
○清津、浦潮行（元山出帆）
地久丸　一月　日　正午出帆
神宮丸　一月七日
▲大智丸　一月十九日　午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
新高丸　一月十七日　午前四時出帆
安平丸　一月廿六日
御注意　[illegible]
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
相模丸　一月廿八日　正午出帆
三河丸　一月十九日　正午出帆
淡路丸　一月十二日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

朝鮮郵船

京城南大門通　松原運送店
全羅丸　一月廿三日
京畿丸　一月十三日
黃海丸　一月廿七日　釜山發
咸鏡丸
慶尚丸
昌平丸　一月十二日
鏡城丸　一月十四日　元山發
平壤丸　月　日
忠清丸　月　日　元山發
永興丸　每月廿八回　元山發
嘉島丸　一月九日　釜山發
江陵丸
漢陽丸　毎　日　（浦項）發
三浦丸　一月九日　釜山發
海州丸　巨濟丸　統營丸　每　日　釜山發
順天丸　三日目每　木浦發
慶興丸　一月　日　木浦發
公州丸　一月十一日　木浦發
公州丸　一月十二日　木浦發
宗信丸　一月　日　仁川發
江原丸　一月十六日　仁川發
麗水丸　晉州丸　一月十三日　仁川發
全州丸　南陽丸　毎日午前　仁川發
平安丸　一月十三日　一月十八日　群山發　若松發